



2022年6月期（第64期）第2四半期 決算説明会資料

2022.02.25

1. 決算の概要
2. セグメント別状況
3. 2022年6月期（第64期）の見通し
4. ステークホルダーとの共生による
サステナブルな成長へ向けて

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。



1

決算の概要



□ 「収益認識基準に関する会計基準」を適用

- 一定期間にわたり充足される履行義務の場合、履行義務の充足に係る進捗(しんちよく)度を見積り、当該進捗度に基づき**収益を一定の期間にわたり認識(計上)する**
- **進捗度の合理的な見積りが困難な場合**、進捗度の合理的な見積りが可能になるまで回収が見込まれる**費用の額で収益を認識する**(原価回収基準を適用)

□ 「エンジニアリング・コンサルティング」業務が対象

※合理的見積りが困難な業務について

前期まで：利益確定後に売上と原価を計上

収益認識基準：期間に発生した費用に応じ、売上と原価を計上

□ 売上、売上原価が共に上昇(損益計算書)

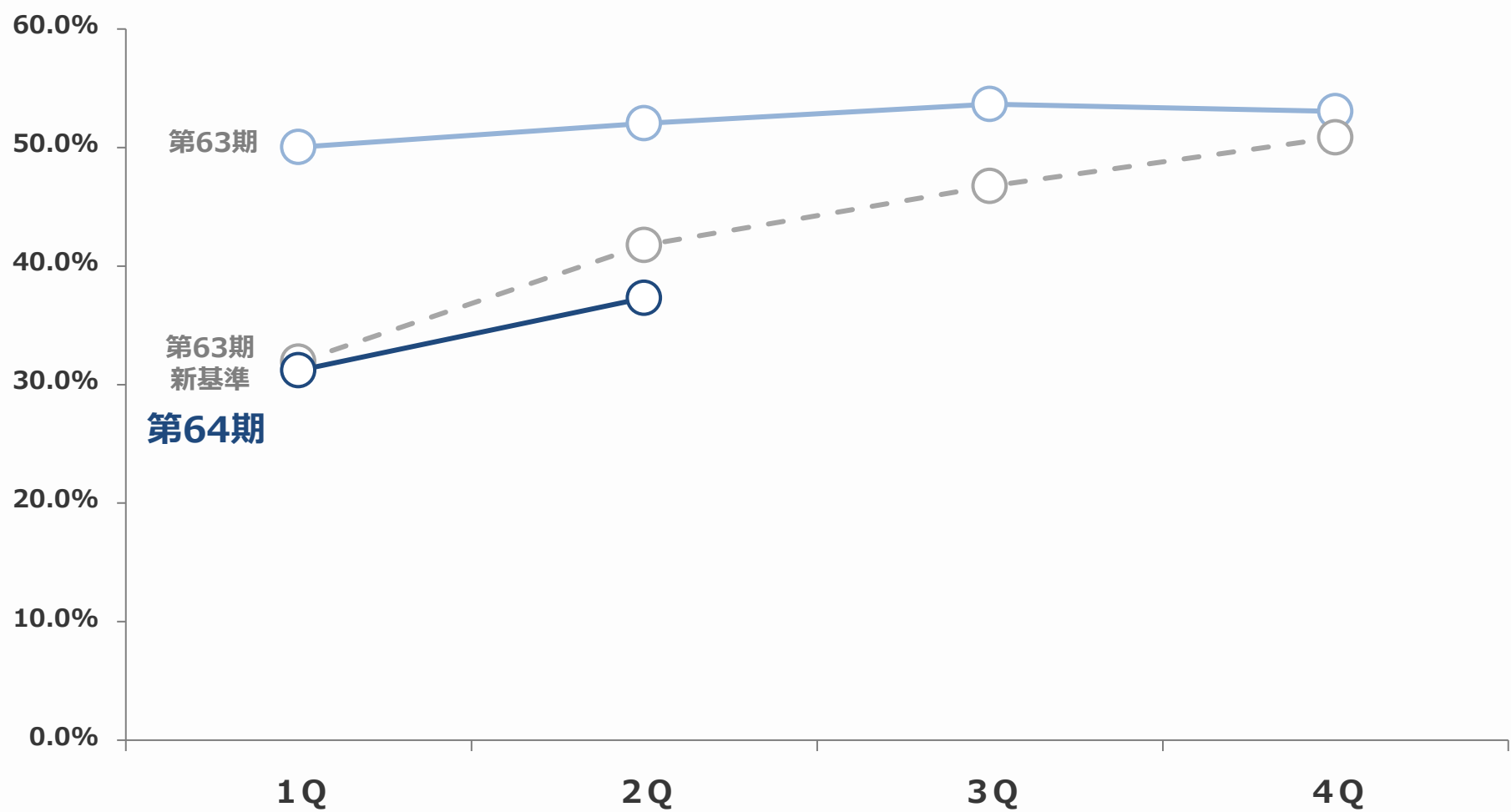
- 売上総利益率等が前期比で低下
- 業務進捗(利益確定)に応じて利益率は改善

(単位：百万円)

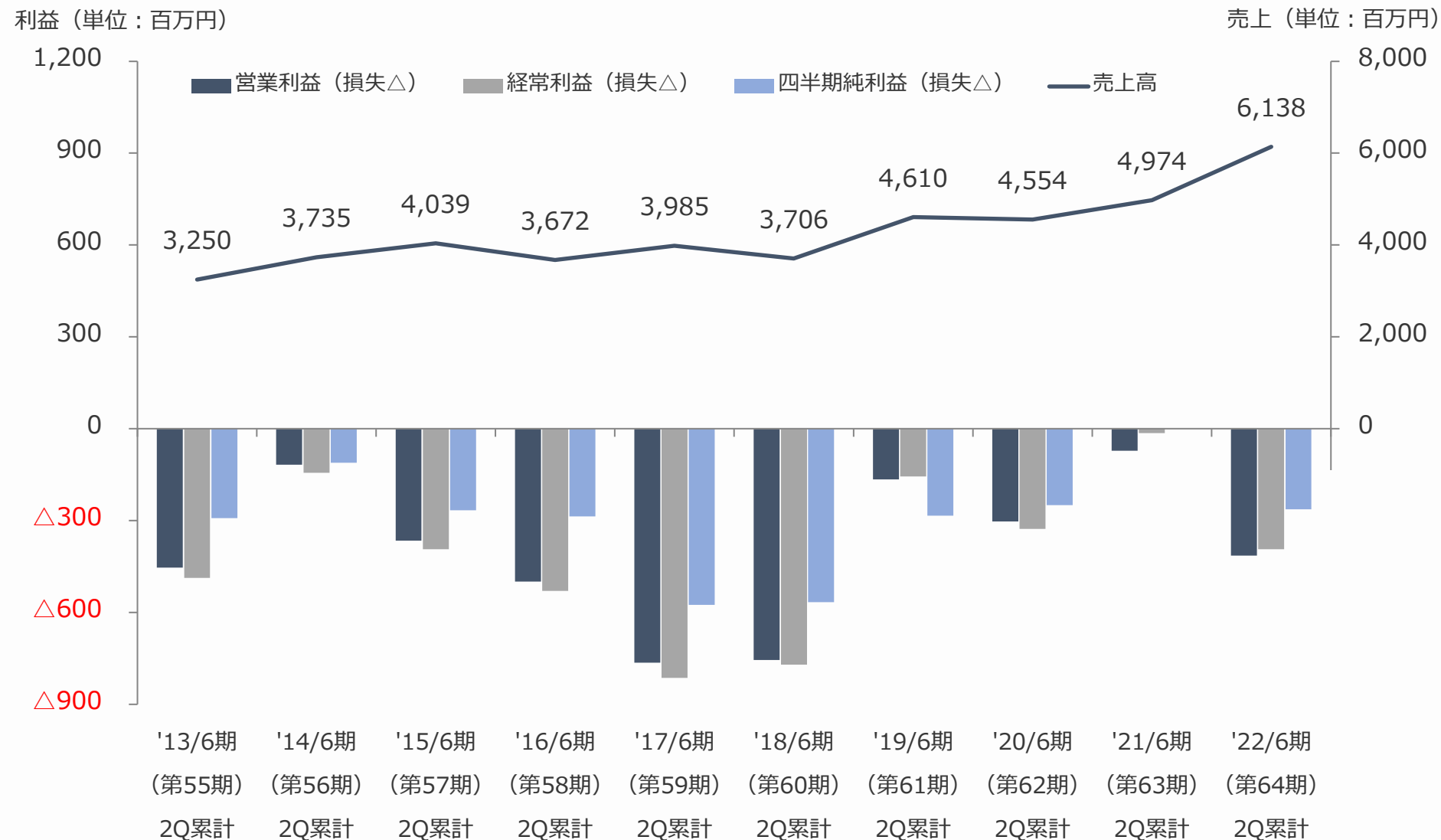
	'21/6期2Q (63期)	'22/6期2Q (64期)	増減	増減割合
売上高	4,974	6,138	1,164	23.4%
売上原価	2,386	3,850	1,464	61.4%
売上総利益	2,588	2,288	△299	△11.6%
(利益率)	(52.0%)	(37.3%)		
販売費及び一般管理費	2,660	2,703	42	1.6%
営業利益 (△損失)	△72	△ 414	△341	—
(利益率)	(△1.5%)	(△6.7%)		
営業外損益	57	20	△36	△63.6%
経常利益 (△損失)	△14	△ 393	△378	—
(利益率)	(△0.3%)	(△6.4%)		
特別損益	△41	△ 19	21	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△56	△ 413	△357	—
法人税等	△58	△ 149	△90	—
四半期純利益 (△損失)	2	△ 263	△266	—
(利益率)	(0.0%)	(△4.3%)		

※第64期より「収益認識に関する会計基準」等（以下「新基準」とする。）を適用しております

四半期別売上総利益率



第2四半期の業績推移



※第64期より新基準を適用しております

(単位：百万円)

貸借対照表（前期末比較）

科目	'21/6期末 (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	増減額	科目	'21/6期末 (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	増減額
現金及び預金	2,120	649	△1,470	短期借入金	—	500	500
受取手形・売掛金・ 契約資産	1,699	2,463	764	一年内長期借入金・ 社債	612	1,149	536
仕掛品	601	62	△539	前受金	939	1,088	149
その他	1,648	1,568	△79	未払費用	805	197	△607
				その他	1,594	1,445	△148
【流動資産】	6,069	4,743	△1,325	【流動負債】	3,951	4,381	429
有形固定資産	5,442	5,641	198	長期借入金・社債	1,952	1,567	△385
無形固定資産	374	325	△48	退職給付引当金	2,223	2,262	38
投資その他の資産	3,661	4,409	747	その他	264	286	22
投資有価証券	2,154	1,976	△177	【固定負債】	4,440	4,115	△324
関係会社株式	76	836	759	【負債の部】	8,392	8,497	105
関係会社出資金	54	54	0	資本金	1,010	1,010	—
繰延税金資産	860	1,053	192	資本剰余金	1,325	1,325	—
その他	514	488	△26	利益剰余金	5,453	4,750	△703
【固定資産】	9,478	10,376	897	自己株式	△765	△514	250
				その他有価証券			
				評価差額金	132	52	△80
				【純資産の部】	7,156	6,623	△533
【資産の部】	15,548	15,120	△428	【負債及び 純資産の部】	15,548	15,120	△428

※ 1 自己資本比率 '21/6期末（46.0%）'22/6期2Q（43.8%）

※ 2 ESOP取込の影響：'21/6期末：流動資産その他に58百万円、自己株式に660百万円、長期借入金に677百万円が含まれる

：'22/6期2Q：流動資産その他に78百万円、自己株式に436百万円、一年内長期借入金に443百万円が含まれる

貸借対照表（2Q末比較）

（単位：百万円）

科目	'21/6期2Q (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	増減額	科目	'21/6期2Q (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	増減額
現金及び預金	627	649	21	短期借入金	360	500	140
受取手形・売掛金・契約資産	1,591	2,463	872	一年以内長期借入金・社債	644	1,149	504
仕掛品	1,302	62	△1,240	前受金	991	1,088	97
その他	1,340	1,568	227	未払費用	202	197	△5
				その他	1,202	1,445	243
【流動資産】	4,862	4,743	△118	【流動負債】	3,400	4,381	980
有形固定資産	5,060	5,641	580	長期借入金・社債	2,478	1,567	△911
無形固定資産	394	325	△68	退職給付引当金	2,154	2,262	107
投資その他の資産	3,843	4,409	565	その他	235	286	50
投資有価証券	2,062	1,976	△85	【固定負債】	4,868	4,115	△753
関係会社株式	291	836	544	【負債の部】	8,269	8,497	227
関係会社出資金	54	54	0	資本金	1,010	1,010	—
繰延税金資産	932	1,053	120	資本剰余金	1,325	1,325	—
その他	503	488	△14	利益剰余金	4,345	4,750	404
【固定資産】	9,298	10,376	1,077	自己株式	△857	△514	343
				その他有価証券			
				評価差額金	68	52	△16
				【純資産の部】	5,891	6,623	731
【資産の部】	14,160	15,120	959	【負債及び純資産の部】	14,160	15,120	959

※ 1 自己資本比率 '21/6期2Q（41.6%）'22/6期2Q（43.8%）

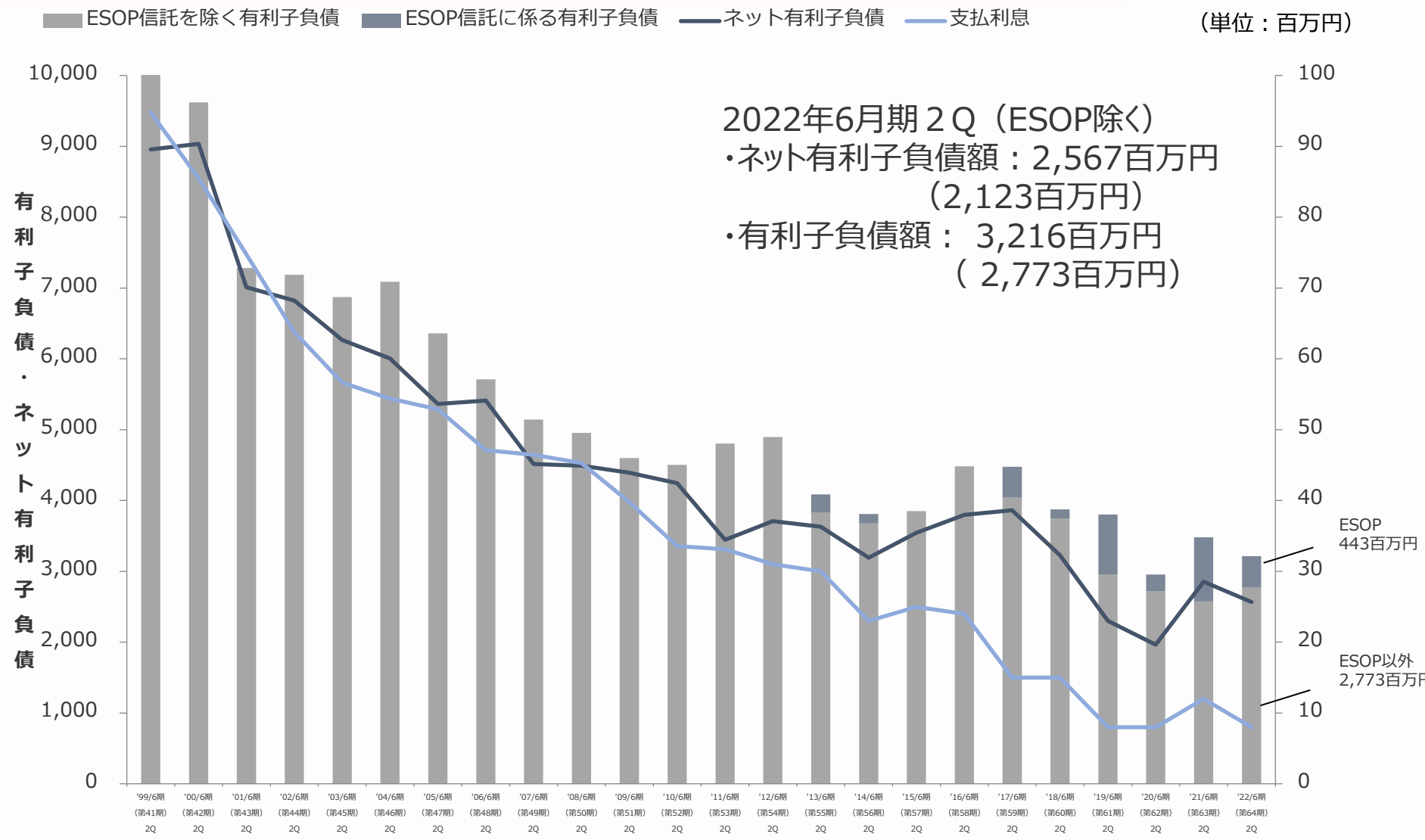
※ 2 ESOP取込の影響：'21/6期2Q：流動資産その他に177百万円、自己株式に752百万円、長期借入金に905百万円が含まれる
：'22/6期2Q：流動資産その他に78百万円、自己株式に436百万円、一年内長期借入金に443百万円が含まれる

□ パートナーとの事業展開をさらに加速するために追加出資を実施

出資先	LockState社	NavVis GmbH社
概要	スマートロックおよび有線アクセスコントロール機器をクラウドで管理するプラットフォームを提供	屋内空間のデジタル化によるサービス改善、業務効率化・高度化するシステムを提供
関係	2008年より資本参加、2017年より日本総代理店としてサービス開始	2015年設立、2015年に業務提携により日本市場でサービス開始
住所	アメリカ・コロラド州デンバー	ドイツ・ミュンヘン
投資ラウンド	シリーズB	シリーズC-3
出資額	\$325万	€200万



ネット有利子負債の推移



(単位：百万円)

	'21/6期2Q (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	増減額
期首現預金残高	2,014	2,120	105
営業活動CF	△1,584	△1,277	307
投資活動CF	△172	△659	△487
フリーCF	△1,756	△1,936	△179
財務活動CF	369	465	95
期末現預金残高	627	649	21

主な営業活動CF	'21/6期2Q	'22/6期2Q	増減額
税引前四半期純損失	△56	△413	△357
売上債権の増減 ※	250	△614	△865
棚卸資産の増減 ※	△628	558	1,187
主な投資活動CF	'21/6期2Q	'22/6期2Q	増減額
投資有価証券の取得	△187	△646	△459
有形固定資産の取得	△43	△280	△237
関係会社株式の売却	-	291	291
主な財務活動CF	'21/6期2Q	'22/6期2Q	増減額
短期借入金の純増	360	500	140
長期借入金の純増	490	200	△289
自己株式処分収入	774	263	△511

※新基準の適用により増減が大きくなっておりますが、
営業活動CFの合計額には影響ありません

2

セグメント別状況



□ 構造設計・構造解析コンサルティング

高層建築設計、大規模建築物の構造解析

□ 環境評価・防災コンサルティング

地震動評価、風況解析、災害リスク評価

□ 住宅・建設分野のシステム開発

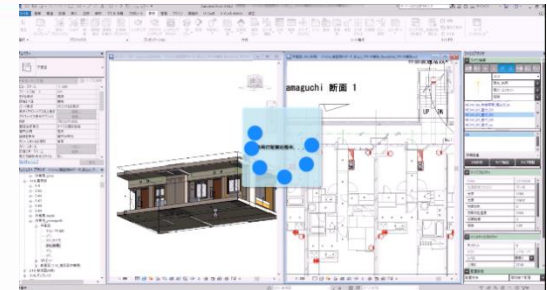
CAD・BIM・構造計算を含むシステム開発

□ 意思決定支援コンサルティング

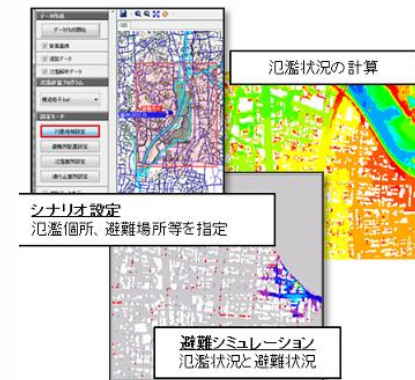
社会シミュレーション、最適化

□ 情報通信技術コンサルティング

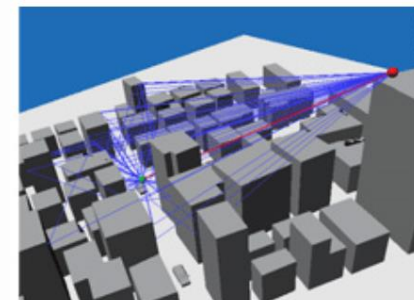
通信ネットワーク・電波伝搬・
電磁界シミュレーション



設計の自動化(自動配置)



避難シミュレーション

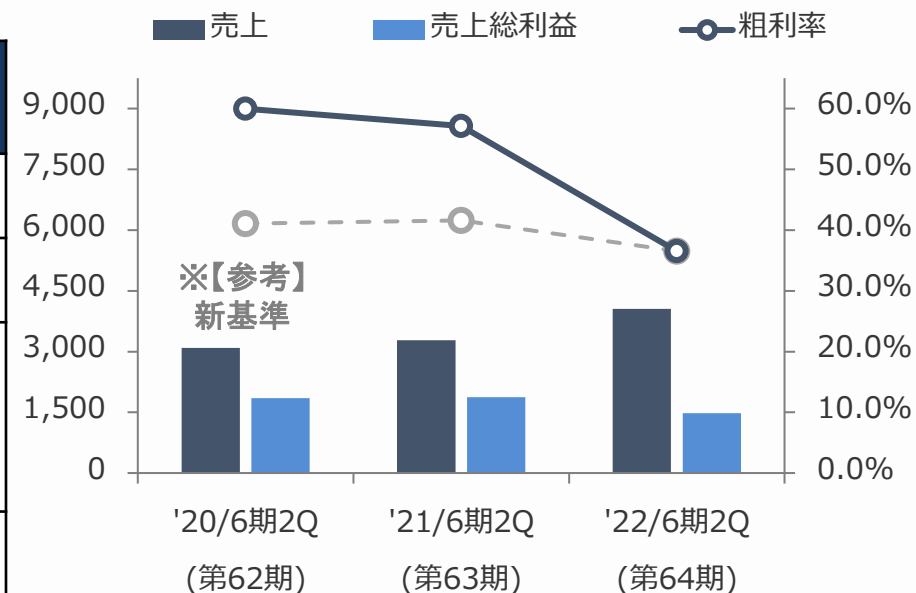


電波伝播解析

セグメント別概要 (エンジニアリングコンサルティング 過年度推移)

(単位：百万円)

	'20/6期2Q (第62期)	'21/6期2Q (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	対前年同期 増減額
受注高	5,414	4,784	5,270	485
売上高	3,090	3,278	4,056	778
売上総利益	1,854	1,873	1,483	△ 390
(利益率)	(60.0%)	(57.2%)	(36.6%)	
受注残高	7,518	6,813	6,838	25



業績分析

- 住宅・建設分野向けのシステム開発業務や構造設計コンサルティング業務が進捗
- 収益認識会計基準等の影響を受け、増収となったものの、利益性は低下

※第64期より新基準を適用しており、過年度に同基準を適用したものを記載しております。

事業テーマ

製造業

CAE、熱流体解析、
粒子法、粉体解析、
営業支援ソリューション
等

構造・耐震解析

建築構造物解析、
地盤解析等

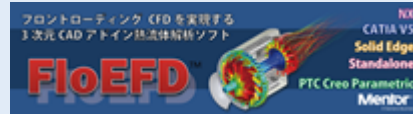
意思決定支援

社会シミュレーション、
リスク評価、最適化等

情報通信・IoT

電波伝搬解析、
屋内ナビゲーション、
メール配信、
リモートロック等

パッケージ販売型の例



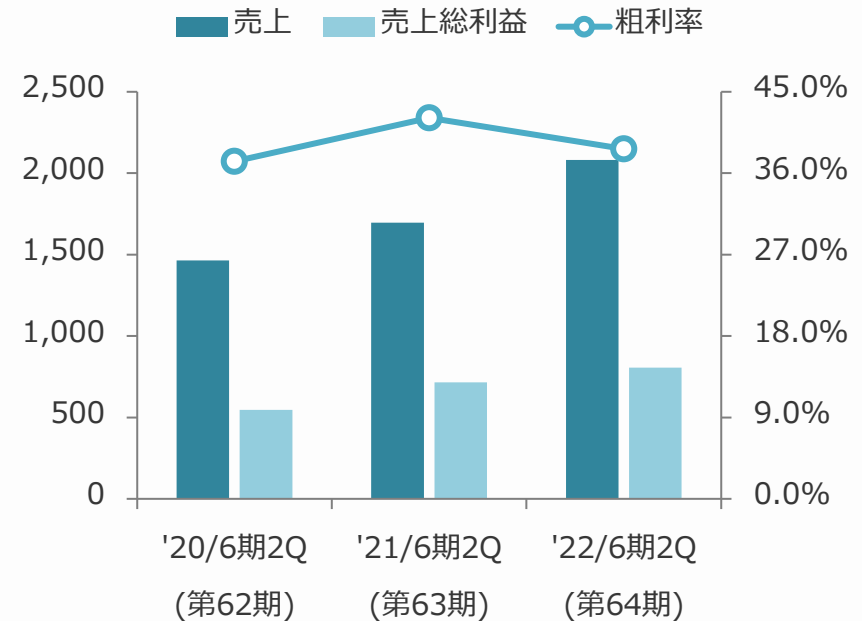
クラウドサービス提供型の例



セグメント別概要 (プロダクツサービス 過年度推移)

(単位：百万円)

	'20/6期2Q (第62期)	'21/6期2Q (第63期)	'22/6期2Q (第64期)	対前年同期 増減額
受注高	1,398	1,534	2,117	583
売上高	1,464	1,696	2,082	386
売上総利益	546	714	805	91
(利益率)	(37.3%)	(42.1%)	(38.7%)	
受注残高	1,017	958	1,257	299



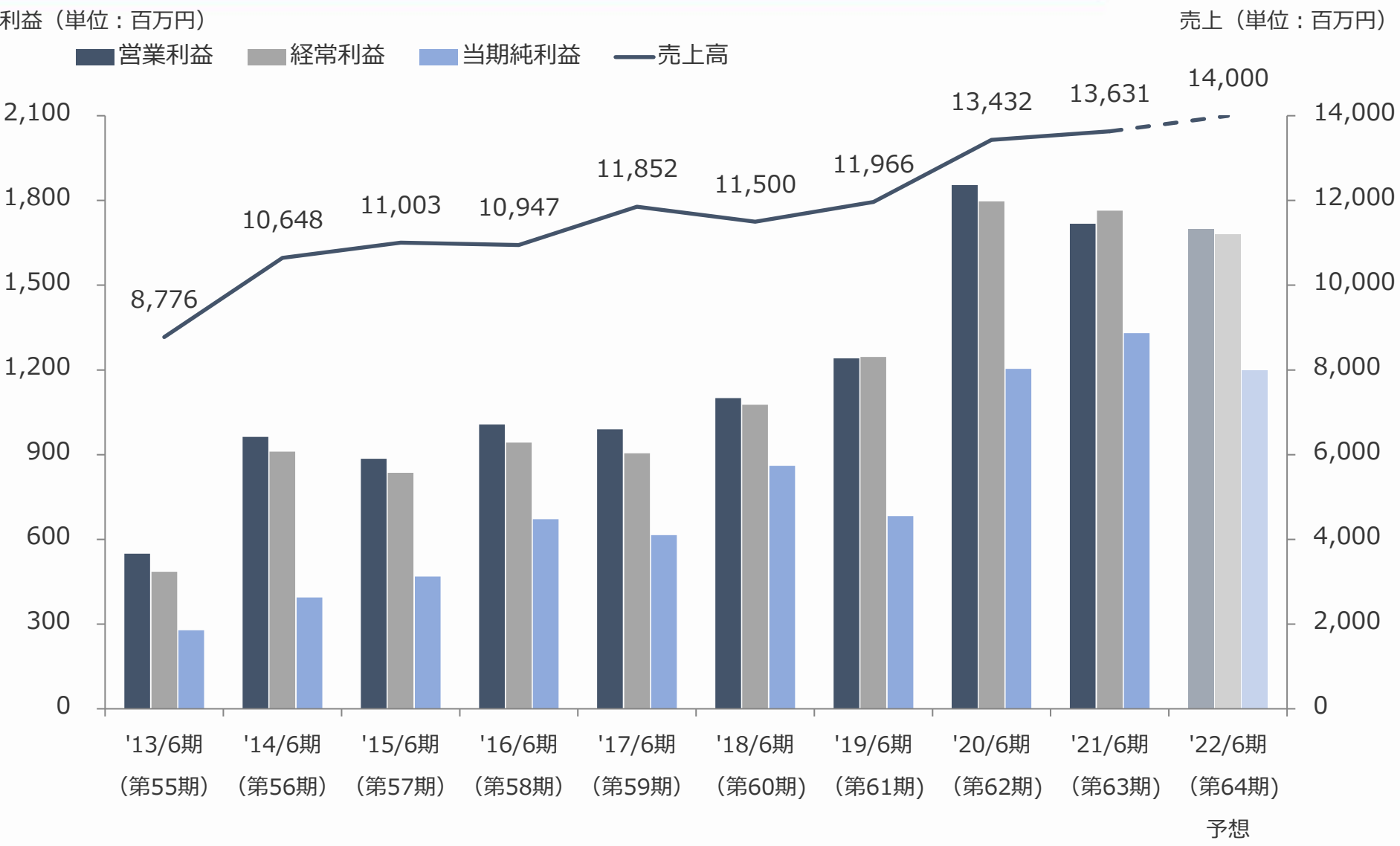
業績分析

- クラウドビジネスの将来の市場拡大に不可欠であるハードウェア販売に注力した結果、受注及び売上を大きく拡大したが、全体の利益率は低下
- パッケージ販売型プロダクツにおいては、設計者向けCAEソフトや電波伝搬解析ソフト等の販売が底堅く推移

3 2022年6月期（第64期）の見通し

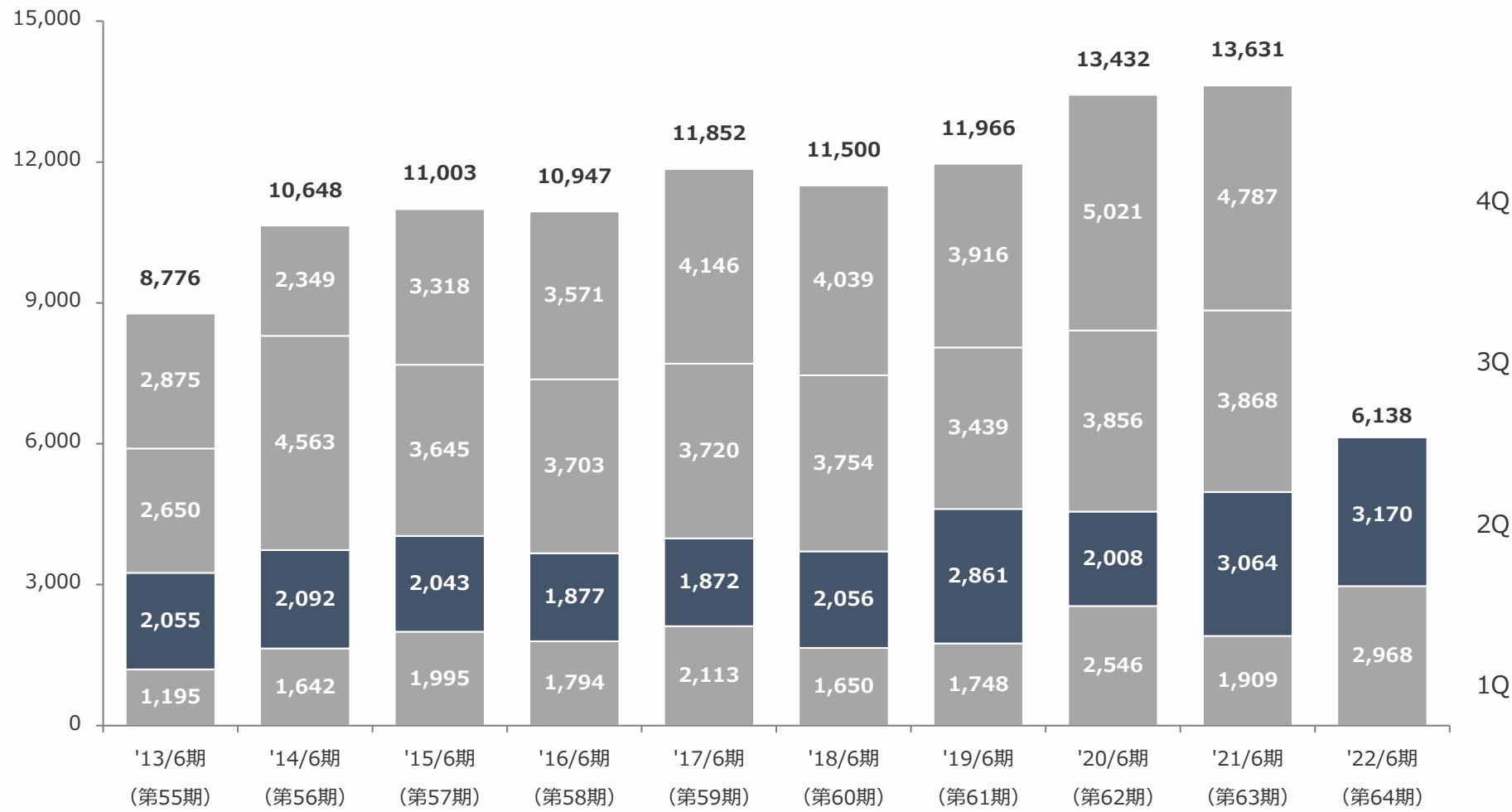


過去の業績推移と業績予想



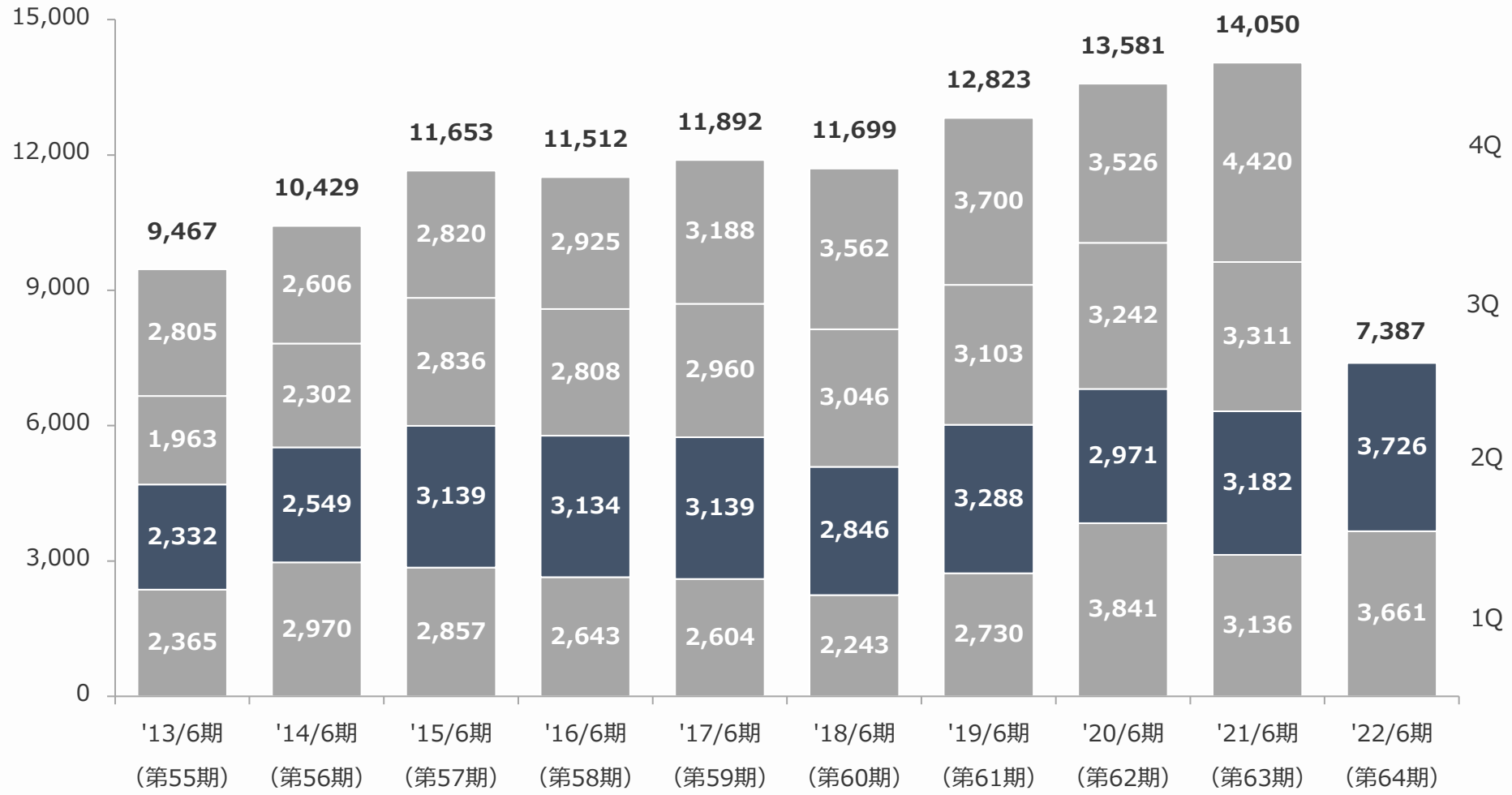
四半期別売上高

(単位：百万円)



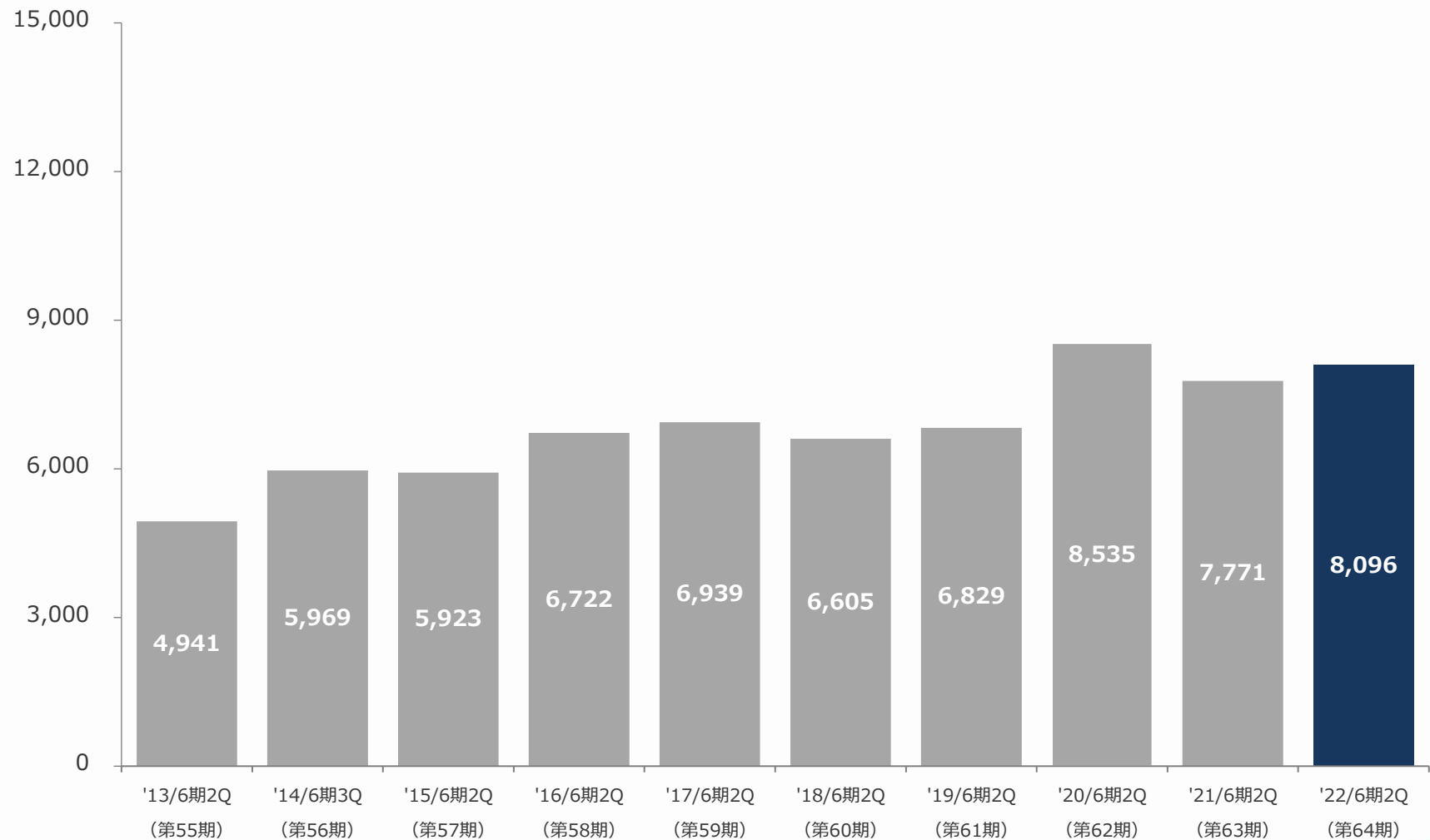
四半期別受注高

(単位：百万円)



受注残

(単位：百万円)

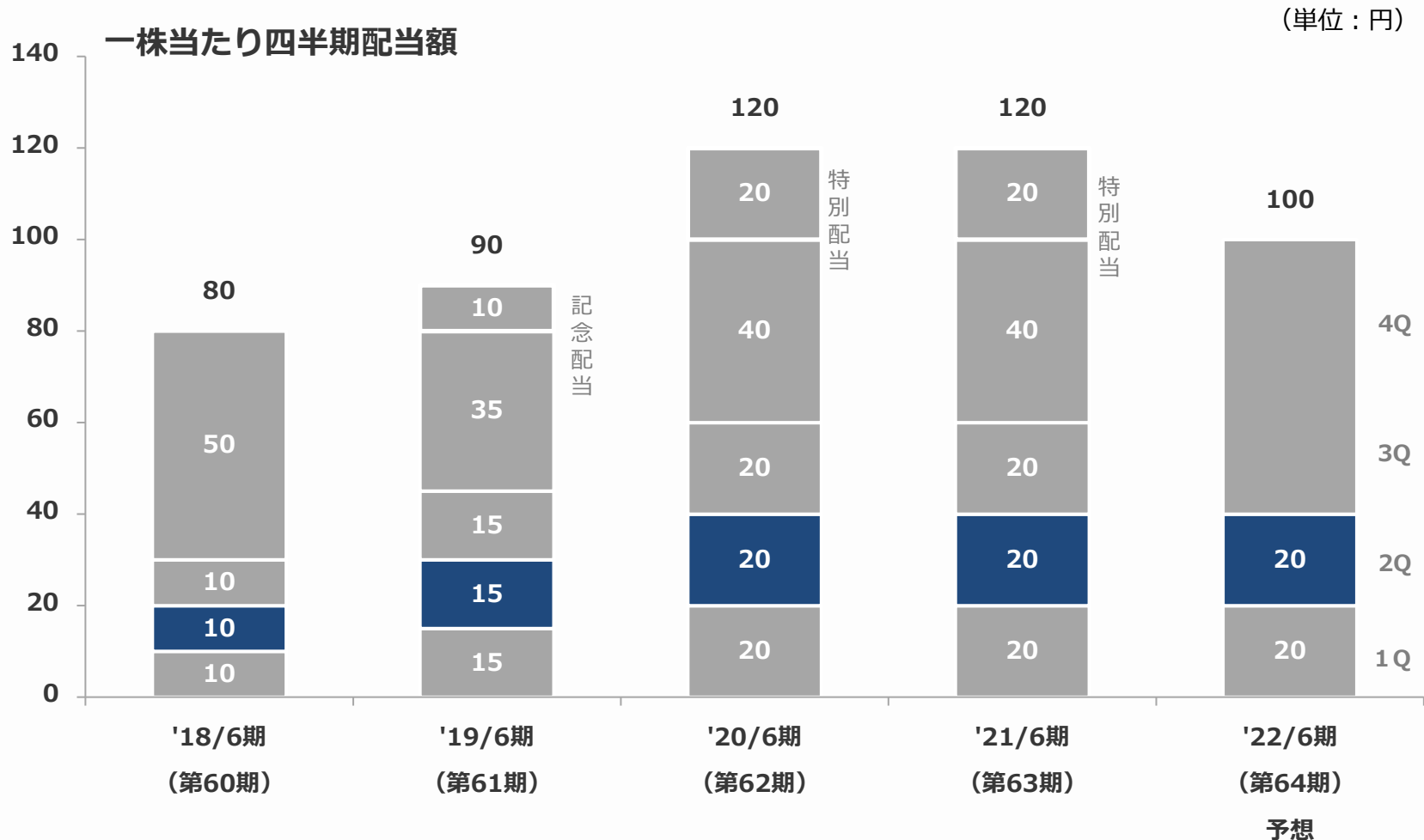


(単位：百万円)

	'21年6月期 (第63期)	'22年6月期 (第64期) 予想	増減額	増減割合
売上高	13,631	14,000	368	2.7%
営業利益	1,718	1,700	△18	△1.1%
経常利益	1,764	1,680	△84	△4.8%
当期純利益	1,330	1,200	△130	△9.8%
(単位：円)				
年間配当金	120 (普通配当100) (特別配当 20)	100		

2022年6月期の業績予想につきましては、2021年8月11日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想に修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則等に基づき、速やかにご報告させていただきます。

配当方針に従い、継続的に安定配当を行う



- 資本効率の向上を図るとともに経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とすること及び利益の一部を株主に還元するため

取得対象株式の種類	当社普通株式
取得しうる株式の総数	120,000株 (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.18%)
株式の取得価額の総額	300,000,000円(上限)
取得期間	2022年2月8日～2022年8月31日
取得方法	東京証券取引所における市場買付 (自己株式立会外買付取引(ToSTNet-3)を含む)

※2021年12月31日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) 5,499,894株

自己株式数 106株

4

ステークホルダーとの共生による サステナブルな成長に向けて



社会と共に目指す未来像：Thought

目指すありたい姿

21世紀を代表する知識集約型企业

Design & Engineering Firm

『人才』を中心とする

当社“らしさ”を醸成する組織風土

Innovating for a Wise Future

Wise Future : 「賢慮」に満ちた未来社会の構築に向けて
Innovating : 持続的に社会へ価値を提供するために進化し続ける

“『工学知』をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮にみちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい”

ステークホルダー：
株主・投資家、地域社会、顧客・産業界、
大学・研究機関・パートナー(投資先・協力会社/個人事業主)、所員

『知識集約型企業』を目指して

客観性・透明性の高いガバナンス体制構築への取り組み

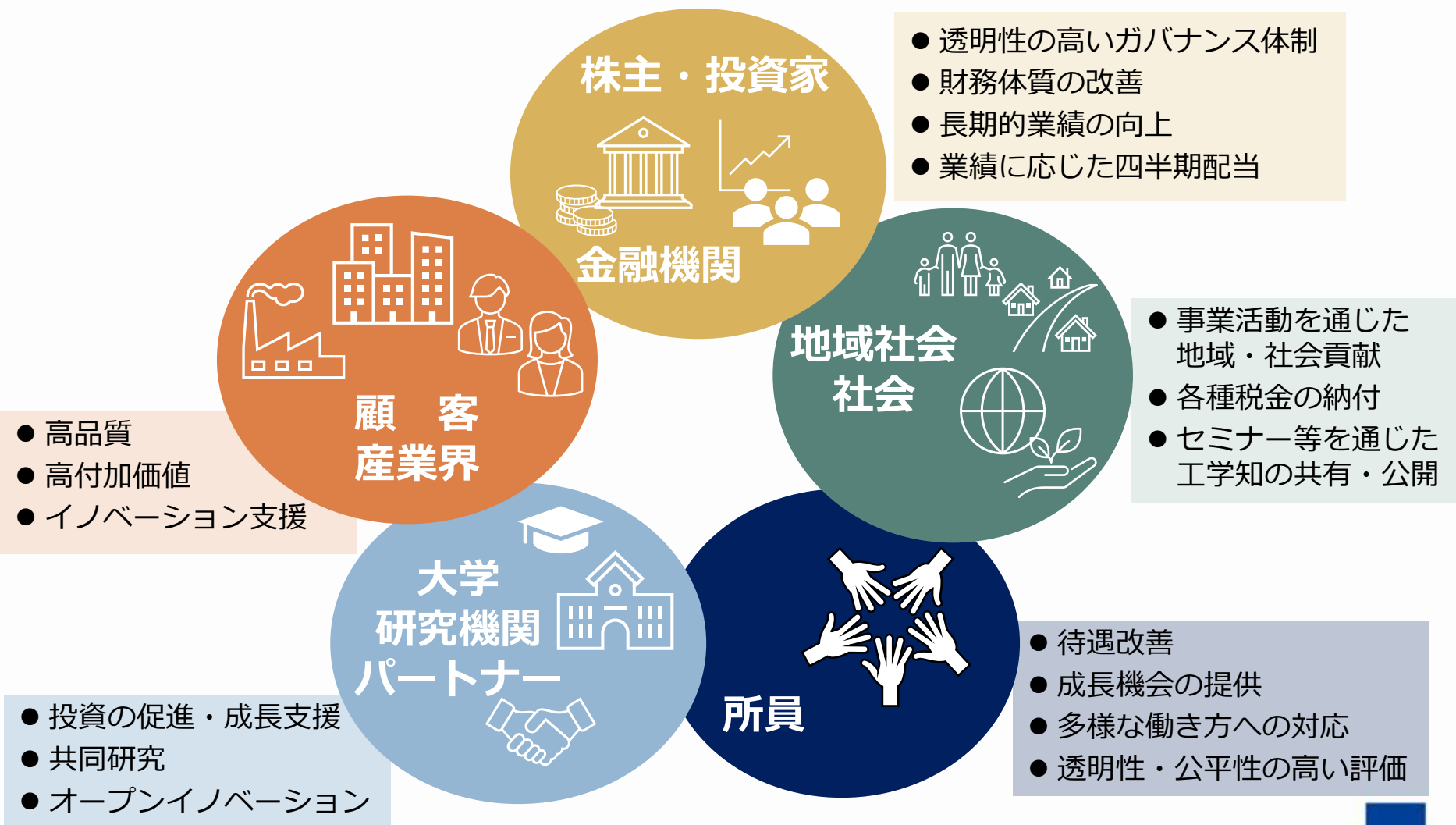
- 2012年6月期より社外取締役を選任
- 2020年6月期より指名委員会等設置会社に移行
【参考】 JASDAQ 658社中 4社
上場企業 3,825社中 85 社 ※JACD 指名委員会等設置会社リストより（2022/1/20時点）
- 2022年6月期
 - 取締役会の半数は独立性と豊富な知識・経験を有する独立社外取締役
 - 社外取締役が過半数を占める指名委員会・監査委員会・報酬委員会の各委員長に社外取締役を選任



東証市場再編に合わせ

コーポレートガバナンス・コードに対する
当社の対応方針及び取り組みをコーポレートサイトで公表

ステークホルダーの皆様と共にサステナブルな成長を目指す



Innovating for a **Wise Future**



Innovating for a **Wise Future**



サステナブルな成長に向け、品質向上・組織風土向上・
人才育成により組織基盤を強化する取り組みを継続し実施

(有価証券報告書：第2「事業の状況」より)

有価証券報告書(62期末)

- － 着実な業績達成をしつつ、中期的な視点から
組織の質の向上及び所員の研鑽を高めてまいります

有価証券報告書(63期末)

- － サステナブルな成長を目指して着実な業績達成をしつつ、
更なる組織の質の向上及び所員の研鑽を高めてまいります

昨年度から継続して質の向上に注力
**特に品質の確保及び向上については
最重点経営課題**

現在の品質保証体制・仕組みは過去からの「学び」

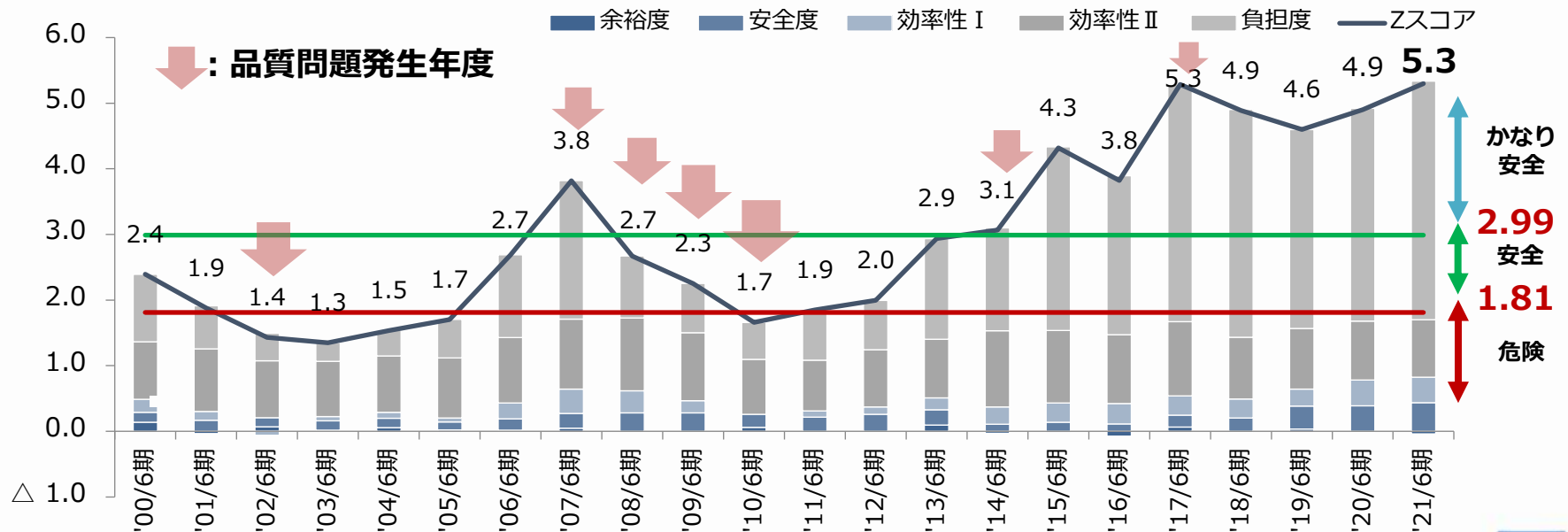
□ Zスコア(倒産危険度)の推移

- 品質問題は中長期的な組織の成長に甚大な影響を与える

□ 過去の品質問題を教訓に品質管理・維持するための組織体制を確立

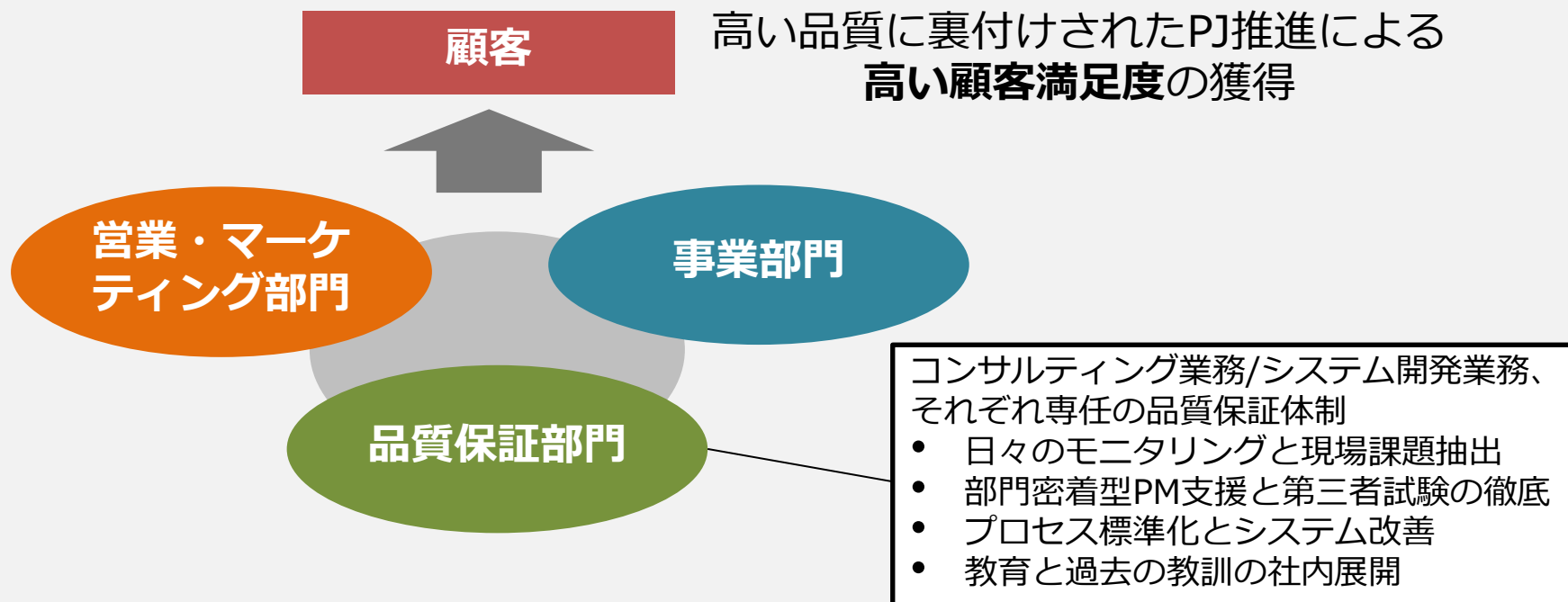
- 第三者視点での品質管理・維持のため、事業部門内組織から品質保証センターを独立

過去の品質問題とZスコア推移



- 過去の品質問題を教訓に
中長期的な品質確保に向けた組織体制を構築

全社で連携し、リスクの抽出・対策を共有することで
課題発生を未然に防ぐ



Innovating for a **Wise Future**



当社は、目指すありたい姿として 『**Design & Engineering Firm**』 の組織形態を追求

Design

情報技術を活用し
コンピュータ上のデジタルな
環境でモデル構築を行う能力



Engineering

サイエンスから派生した工学
知を社会に活用できる状態に
まで高める能力



構造設計を始めとして、地盤や周囲の環境解析・建築業界や製造業界におけるIT活用支援・人間行動を含む社会システムのシミュレーション・意思決定支援など、当社の全ての業務の共通基盤

当社の既存事業分野

- 構造設計/解析
- 住宅・建設
- 情報通信
- 製造
- 意思決定支援

既存事業の
取り組み



環境
(Environment)



社会
(Social)

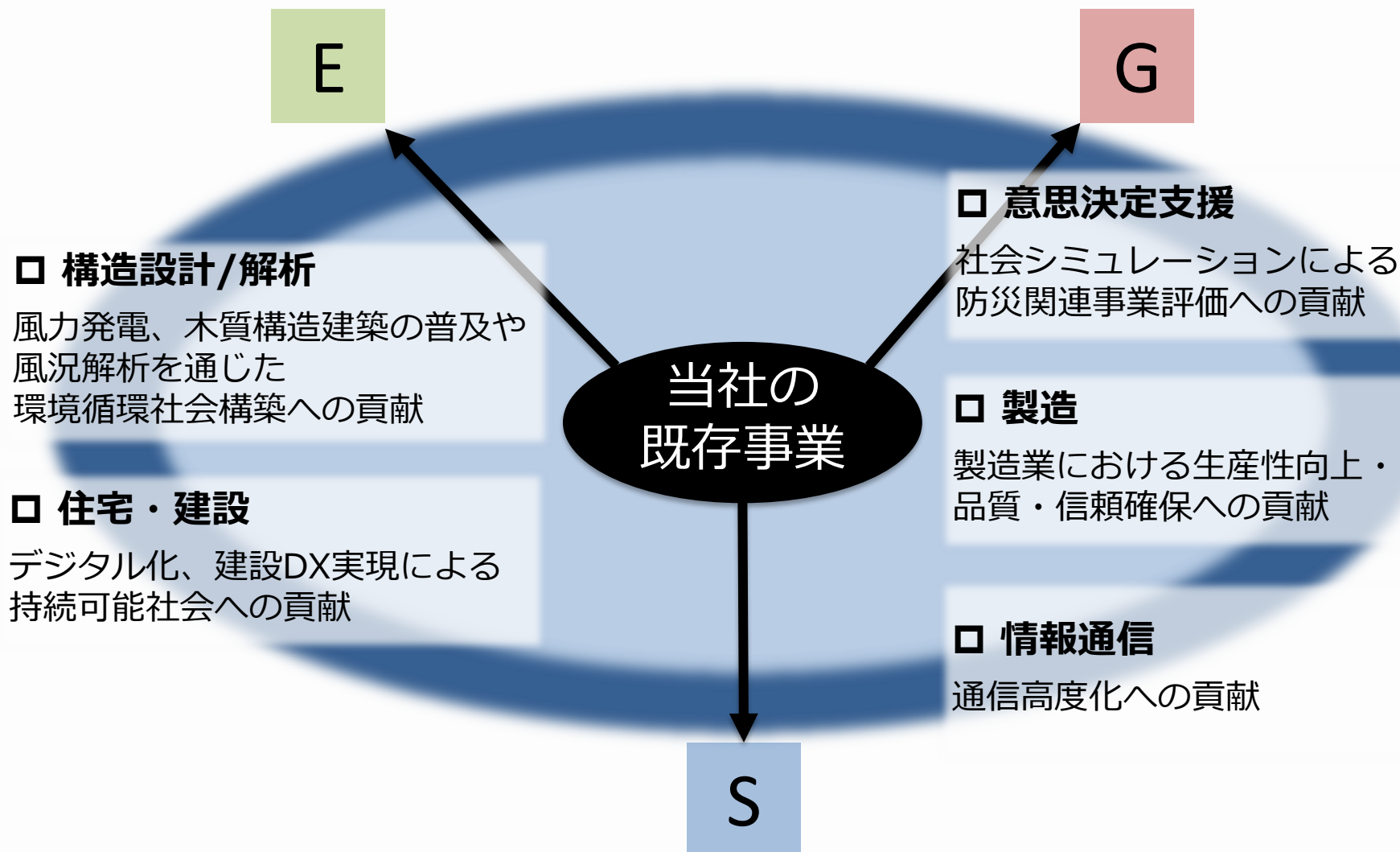


企業統治
(Governance)



世界的な環境・社会・企業統治（ESG）への関心の高まり

技術コンサルティングで“ESG”を支援していく



洋上風力事業におけるALL KKEの価値提供に向けて

取り巻く環境の変化

脱炭素社会に向けた世の中の動き

これまでの**陸上風力事業**への価値提供

- 豊富な経験知による高い信頼とシェア獲得



現在の**洋上風力事業**での価値創出に向けた取り組み

- 2021年 経産省の洋上風力発電設備に関する**制度設計業務**に関与
→洋上風力事業への価値提供に向けた第一歩
- 経験知と他分野技術を活かした**ワンストップサービスの提供**を目指す

地震動評価

防災

風況解析

環境

基地港湾検討

最適化

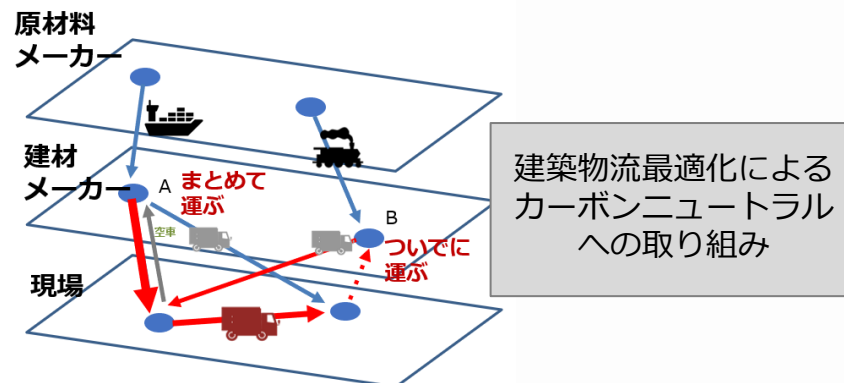
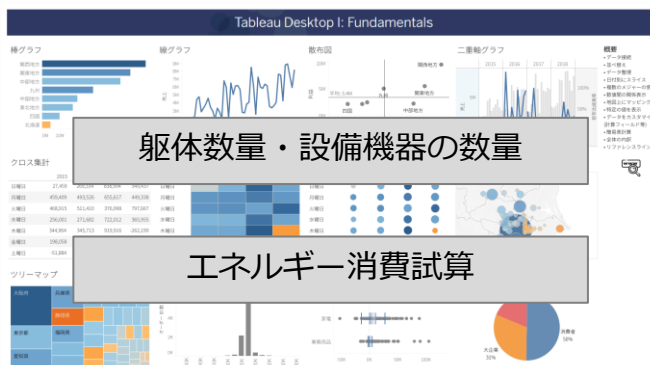
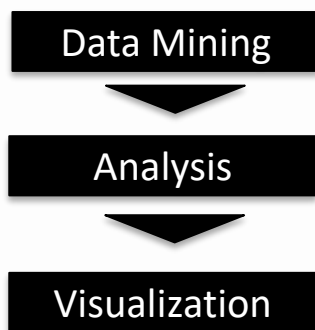
風力を軸とした様々なテーマに対しKKE全体での取り組みへ

BIM、点群、画像などの情報技術を用いたデジタル化

BIM:建築物の情報を3Dモデル内で一元化して管理する手法



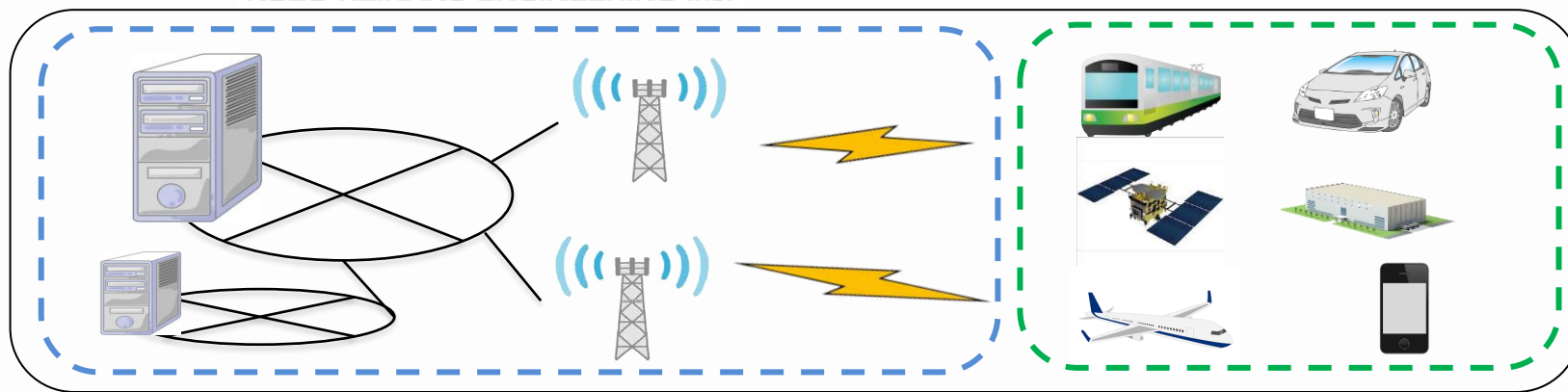
蓄積されたデジタル情報を利用し建設DXへ



デジタル化、建設DX実現による持続可能社会への貢献

パートナーとの協業による価値提供

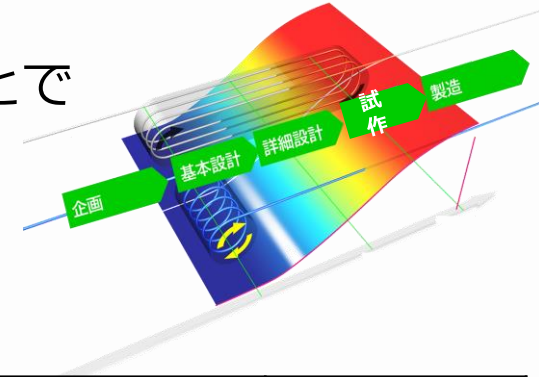
- ローカル5G市場における需要増加を見込み、2021年6月にアンリツ社と協働で会社(AK Radio Design)を設立



**高度化・複雑化するネットワーク全体の検証支援を
ワンストップで提供**

設計者向けシミュレーションソフト(CAE)の付加価値提供

- 設計の上流段階でシミュレーションを活用することで
“期間短縮”, “品質向上”, “コストダウン”を実現



- 販売だけでなく
顧客の開発プロセス検討支援
コンサルティングの提供
- CAEだけでなく
**計測やデータ同化を含めた
課題解決技術の提供**

	設計開発	生産技術
組立加工系製造業 (自動車/電機/機械)	PKG 販売中心	
プロセス系製造業 (化学/製薬/食品)		PKG販売 コンサル

品質・安全支援

パッケージを軸としたコンサルティング事業への展開

自治体・官公庁の防災事業における意思決定を支援

- 社会事象のシミュレーションを軸とした意思決定支援サービス・コンサルティングを、自治体・官公庁の防災関連事業に展開

社会シミュレーション技術

- 避難シミュレーション
- 人流（回遊）シミュレーション
- 交通シミュレーション
- ネットワーク分析等

自治体・官公庁の防災関連事業

- ✓ 原子力避難時間推定（ETE）
- ✓ 事業・政策評価支援

- 顧客からの高い信頼の獲得
- 継続・横展開によるさらなる経験知の蓄積

**社会シミュレーション技術と蓄積した経験知の活用により
防災関連事業へ参入し、ビジネスを展開**

Innovating for a **Wise Future**



(有価証券報告書：第2「事業の状況」より)

有価証券報告書(62期末)

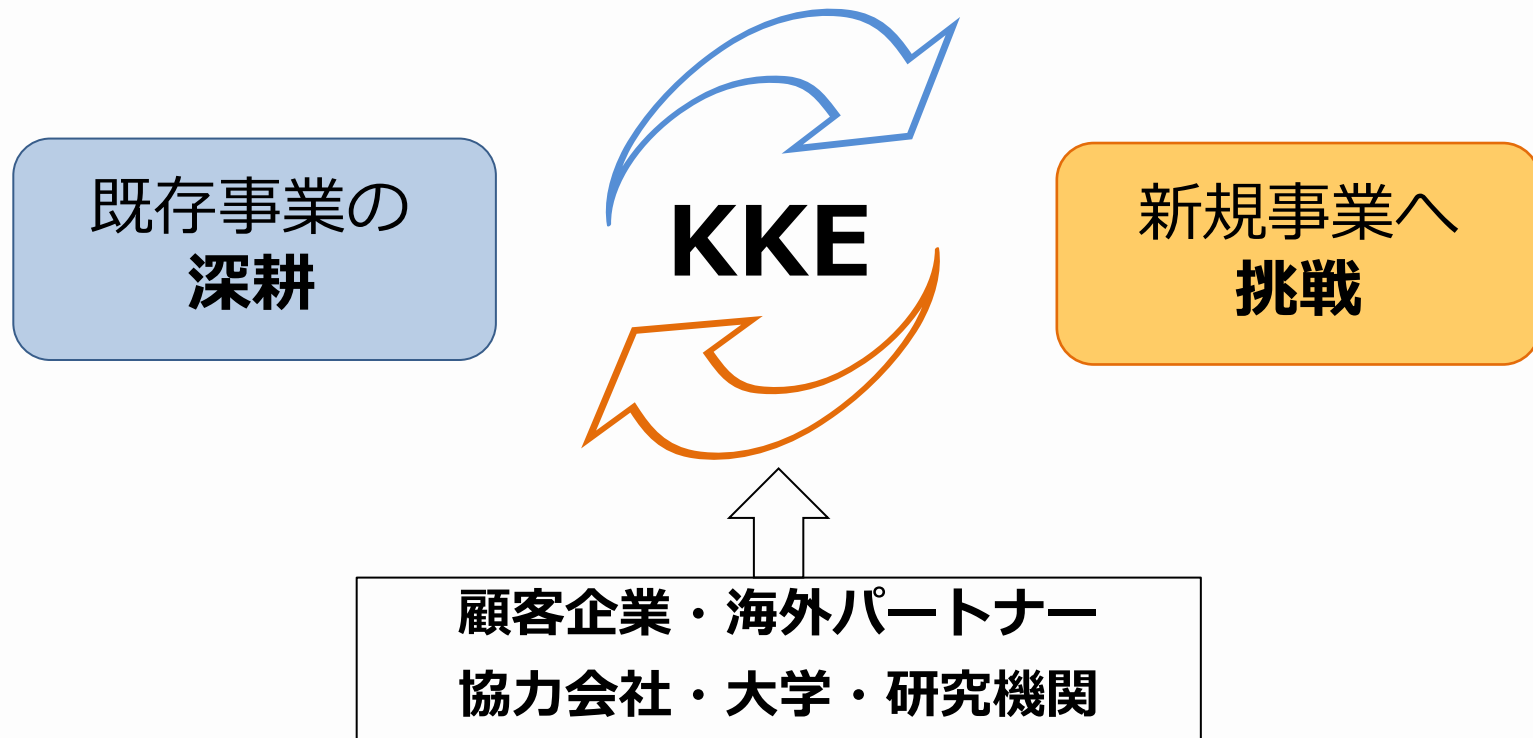
- 着実な業績達成をしつつ、中期的な視点から組織の質の向上及び所員の研鑽を高めてまいります

有価証券報告書(63期末)

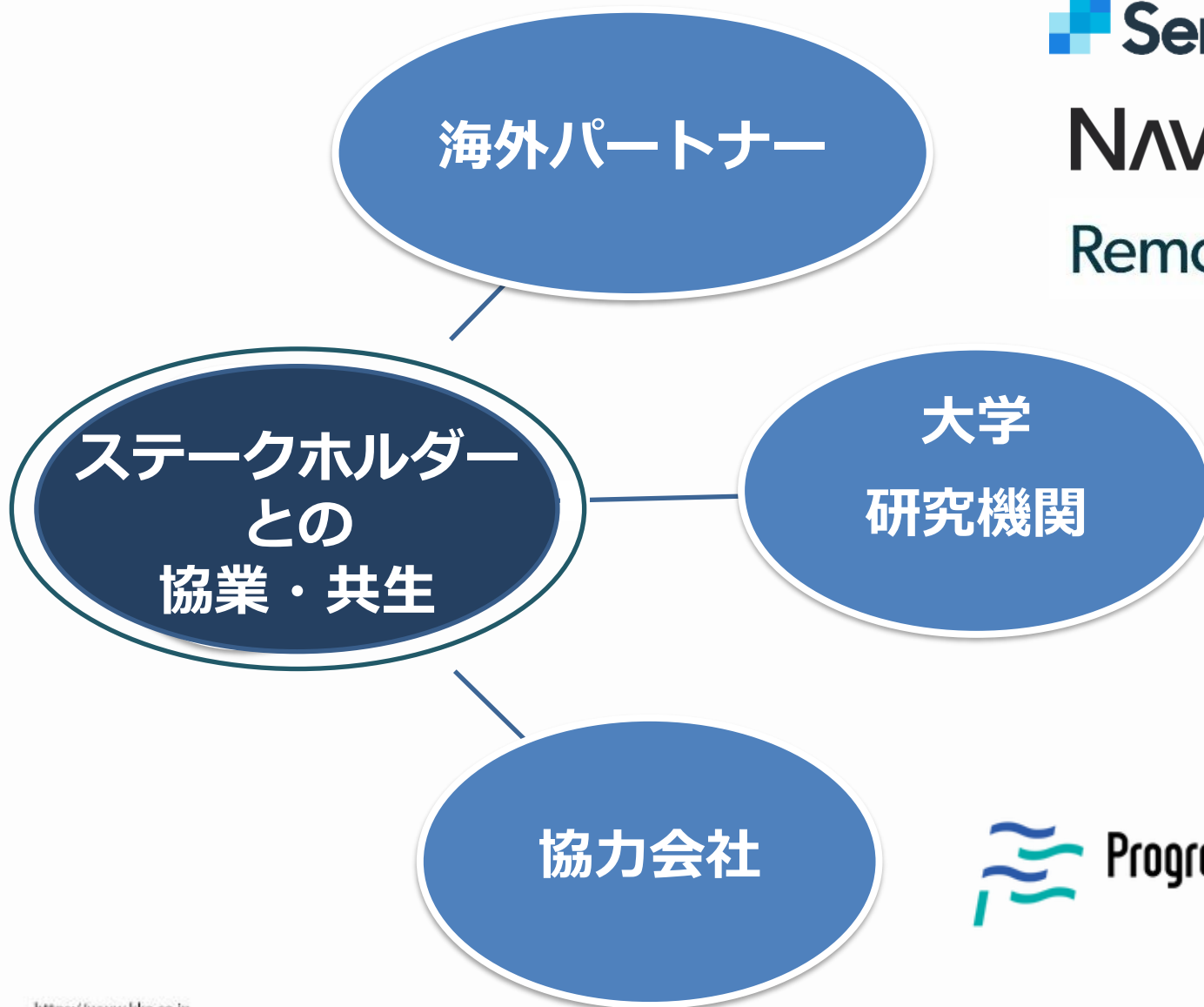
- **サステナブルな成長を目指して**着実な業績達成をしつつ、更なる組織の質の向上及び所員の研鑽を高めてまいります

品質、人才、組織風土といった質の向上に加えて
サステナブルな成長に向けた付加価値の向上への取り組み

- 既存事業の着実な成長に加えて、**新規ビジネスへの挑戦**もサステナブルな成長・付加価値向上には必要・重要



ステークホルダーとの協業により実現



TWILIO
SendGrid

NAVVIS

RemoteLOCK



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

Progress Solution

海外パートナーとの連携による価値の創造

□ Twilio SendGrid

- ✓ クラウドベースのメール配信サービス
- ✓ 2013年より日本向けサービスを開始



□ NavVis

- ✓ 空間を3Dマッピングするプラットフォーム
- ✓ 2015年より業務提携を開始、日本市場にて販売、ソリューションを展開



□ RemoteLOCK

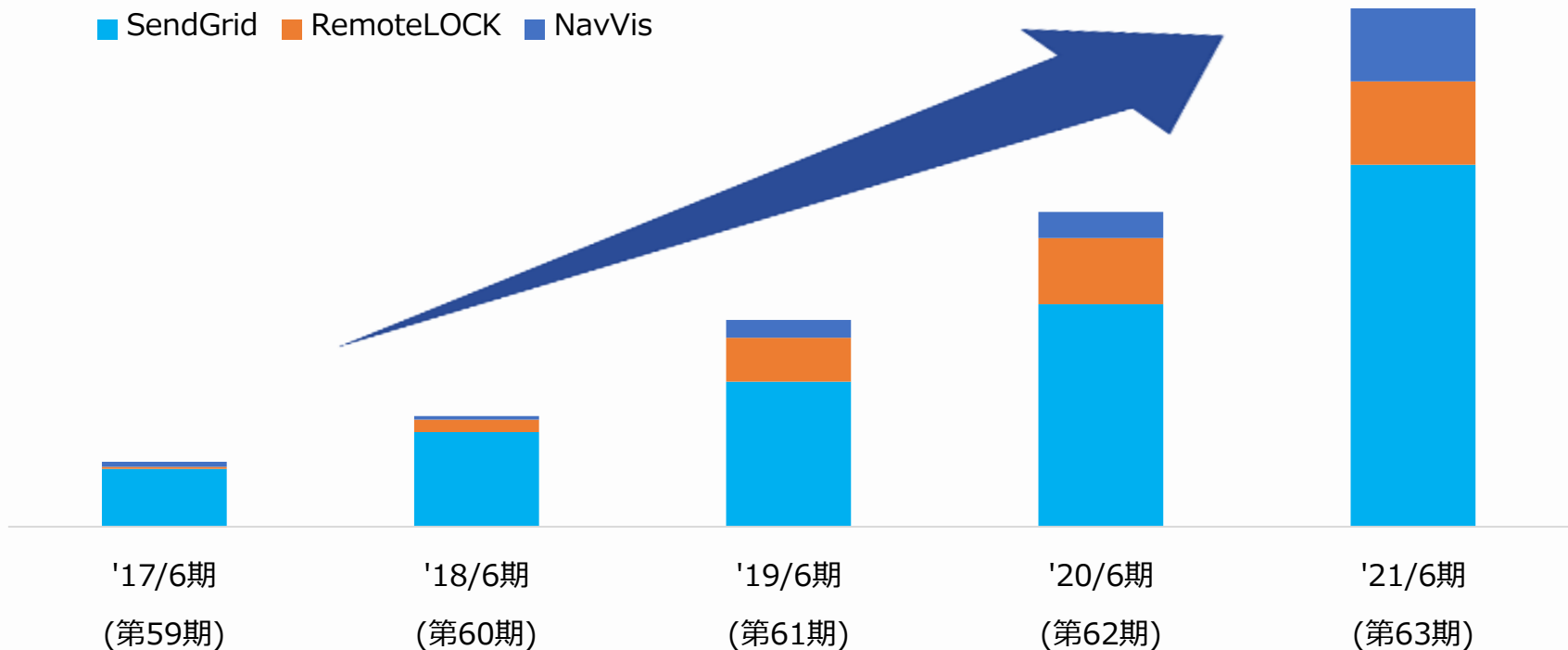
- ✓ Wi-Fi型スマートロック
- ✓ 2017年より日本市場でのサービスを開始



新規ビジネス:  ^{TWILIO} SendGrid + RemoteLOCK + NavVis

CAGR(年平均成長率) : 51%

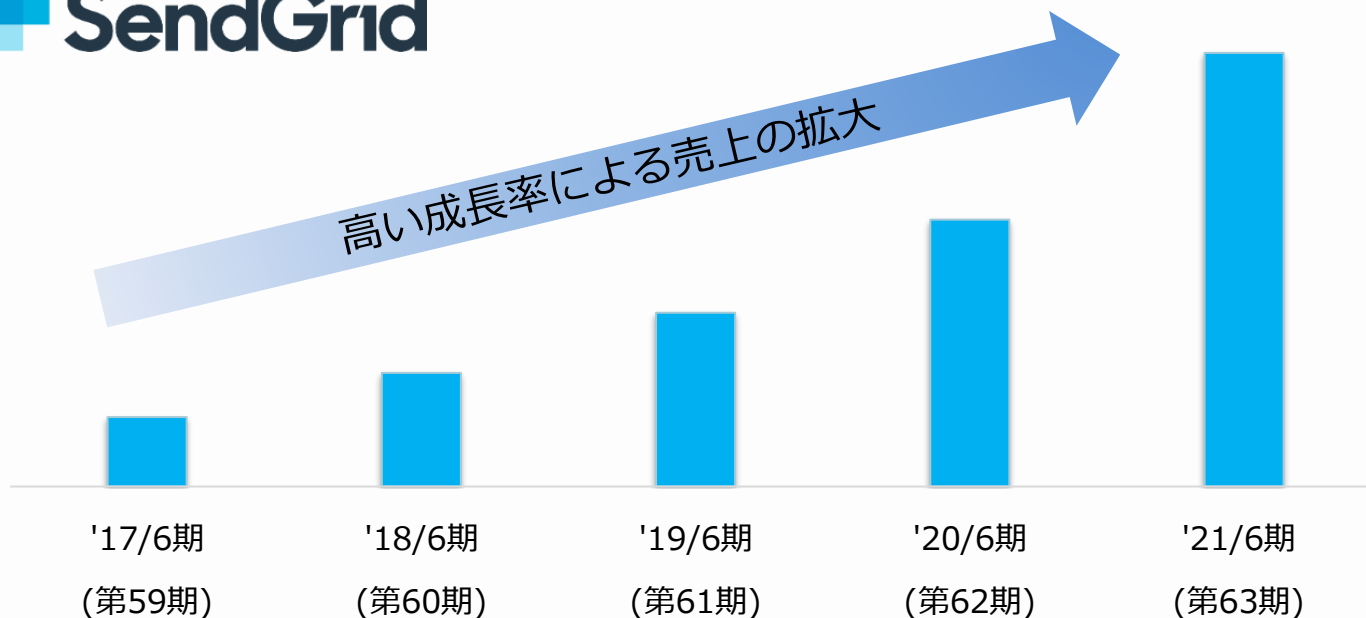
■ SendGrid ■ RemoteLOCK ■ NavVis



SendGridをはじめとする新規ビジネスが確実に成長



売上推移



コミュニティによる拡散、安心・信頼の提供+外部環境の変化
⇒**継続的に事業規模拡大**

IT・クラウドサービスのレビューサイト ITreview にて
「**ITreview Grid Award 2022 Winter**」受賞
高い満足度と認知度で業界のリーダへ



新機種VLXの販売好調に加え
DX需要を受け、国内市場において急成長

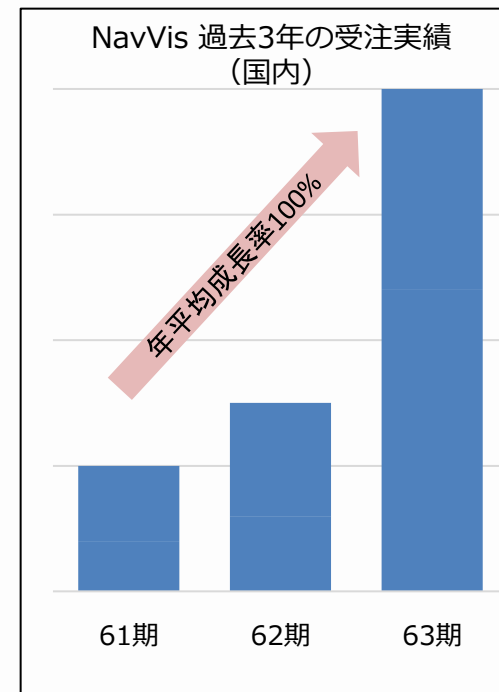
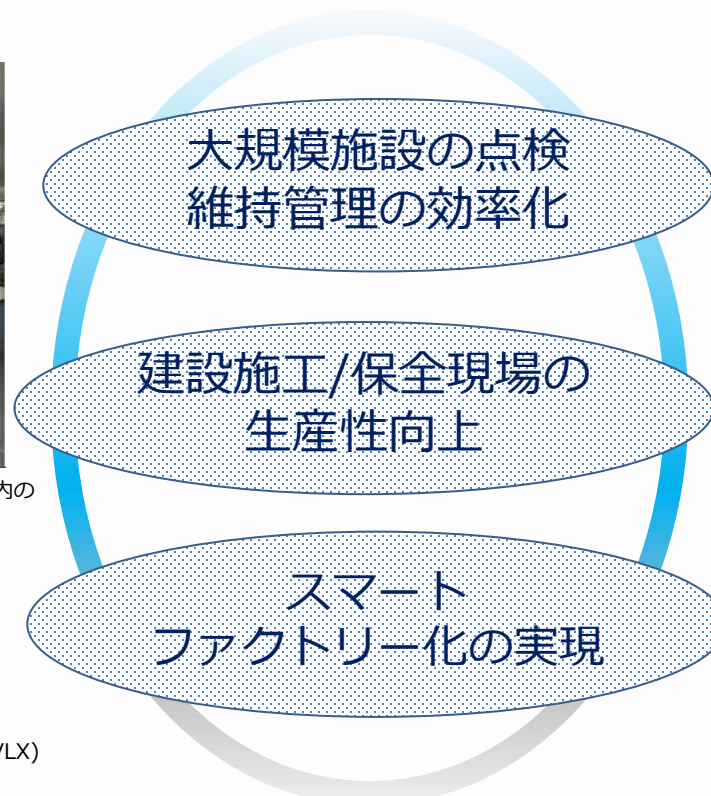
NavVis



▲NavVisで測定した工場内の3Dデータ



◀NavVis 本体(M6およびVLX)



出展: <https://demofactory.iv.navvis.com/?vlon=2.54&vlat=0.05&fov=150.0&image=655>

**64期より売上拡大を目指し事業開発部門から独立
さらに他部門との連携によりソリューションの幅を拡大**

IoTによる省人化を推進

- 公共施設における行政側の管理負担の高さ、
および利用者の利便性の低さという課題が顕在化
→ 予約システム「まちかぎリモート」により、施設利用の手続きを簡略化

RemoteLOCK™



<https://www.kke.co.jp>

神戸市の市営住宅集会所の入口に取り付けられたRemoteLock

26自治体



日光市のギャラリー入口に取り付けられたRemoteLock

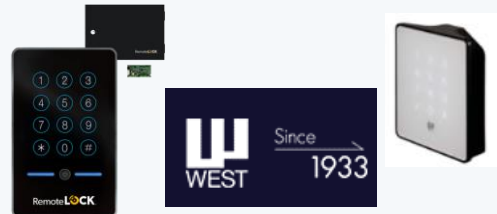
Copyright© KOZOKEIKAKU ENGINEERING Inc. All Rights Reserved.

プラットフォームとしてパートナーとの共生を目指す

Any Brands, Any credential , Any Software

ハードウェア連携

- ✓ 自社ロック
- ✓ 他社ロック
- ✓ 入館ゲート
- ✓ 駐車場ゲート
- ✓ ロッカー 等



認証方法の拡張

各種サービスとのシステム連携

- ✓ 予約システム
- ✓ 精算システム
- ✓ ホテルシステム等



□ メーカーを問わず様々なデバイスの管理や各種サービスとの連携が可能な
アクセスコントロールのオープンプラットフォーム

ビジネスの協働・共生により価値を創出する戦略パートナーとして、海外パートナーへ以下の投資活動を実施

□NavVis社

NavVis

本社：独・ミュンヘン



Series C

€200万の出資

□LockState社

RemoteLOCK

本社：米・コロラド州デンバー



Series B

\$ 325万の出資

さらなるパートナーシップの強化、ビジネスの協業



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

□ 東京大学 生産技術研究所 合原一幸 教授と共同で

2016年より社会連携講座

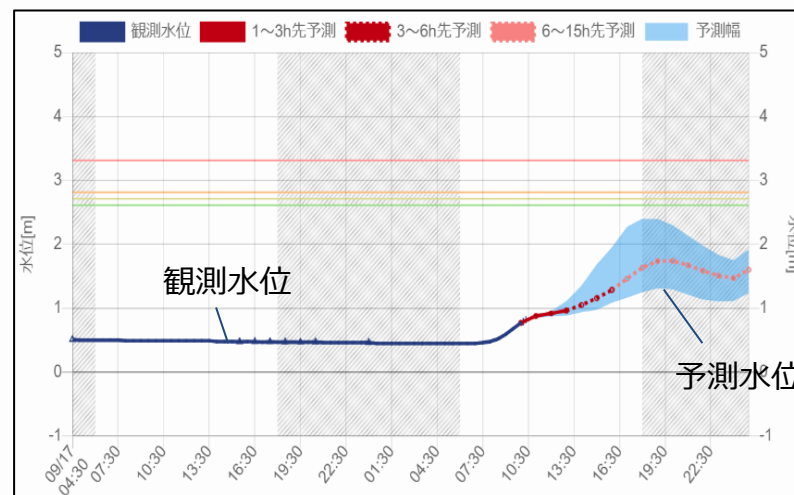
「未来の複雑社会システムのための数理工学」を設置

□ 共同開発した時系列解析技術を利用し

洪水予測を短期間・高精度に実現するサービス「RiverCast」を提供

リアルタイム洪水予測システム

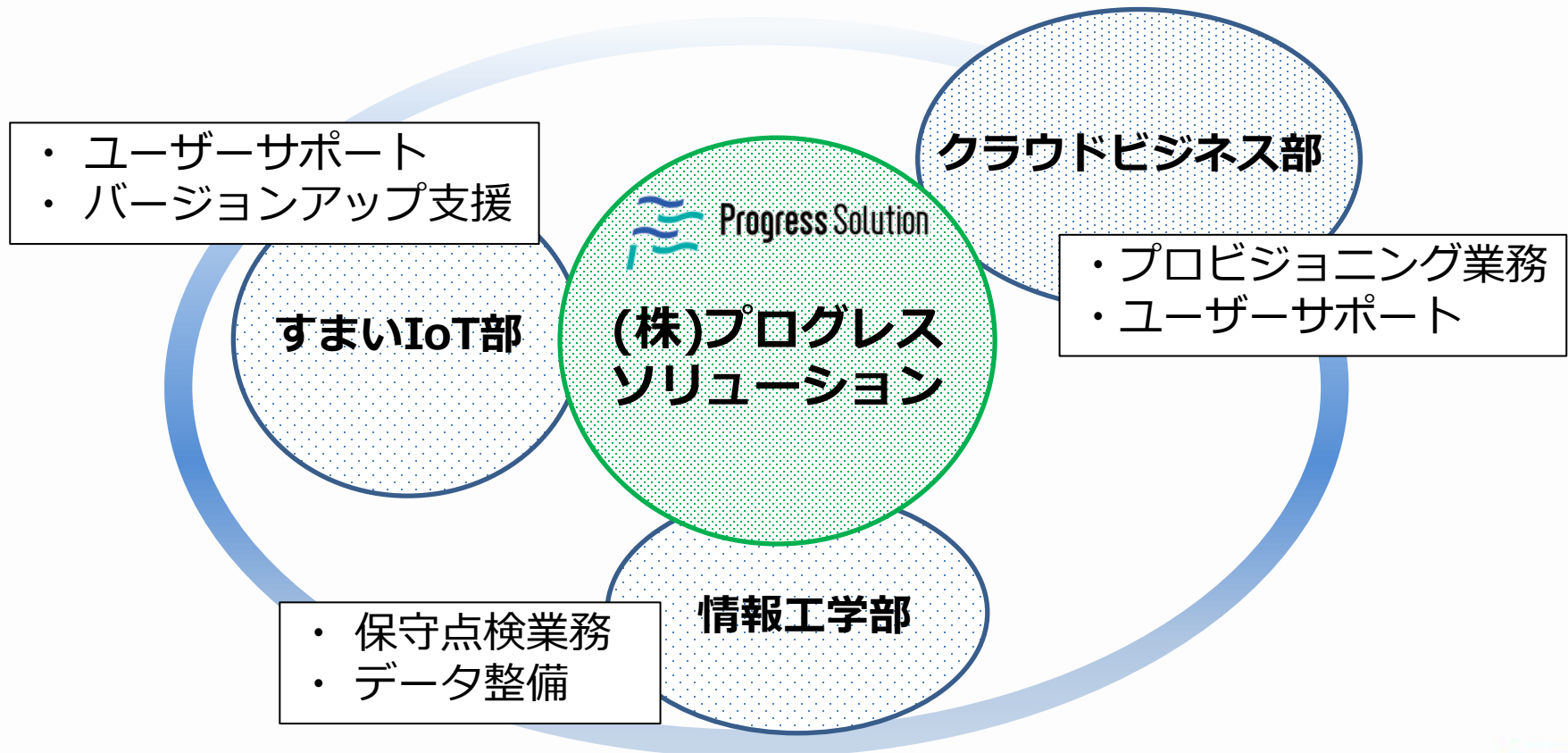
RiverCast



▲RiverCastによる河川の水位予測

大学・研究機関との共同開発による、社会への価値提供

- (株)プログレスソリューションとの協業による価値創出
 - 当社の複数部門のビジネスを支えるパートナー
 - パートナーとともに価値の向上を目指していく

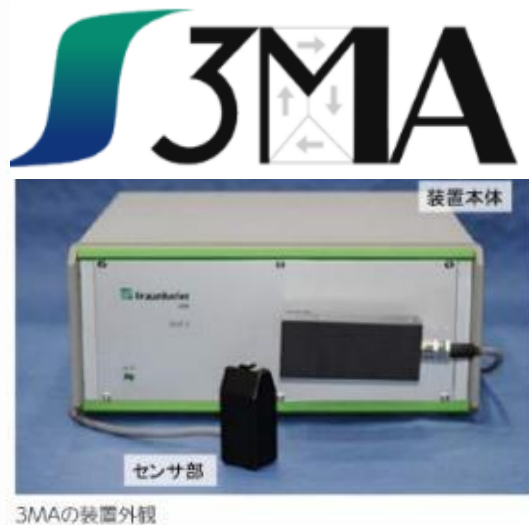


□ 挑戦する人を応援する、サポートする組織風土の醸成を目指した仕組み



- 2019年社内公募より
 - 「製造プロセス統合型の品質検査ソリューション」
 - 3MA(先進非破壊検査デバイス)を使用することで製造リードタイムの短縮、検査コストの削減などが見込まれる

→社内公募から発展して、次世代事業開発部 3MAビジネス室の創設



■ 構造計画研究所
KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.

やりたいビジネス、
KKEで
はじめませんか？

62期
社内公募
応募締め切り
5月11日(月)

日常の業務に追われて
眠りかけた
そのアイデア、
その蓄った経験、
その熱い思い、
カタチにする
チャンスです！

応募資格 KKE 所員ならどなたでも
個人、チーム不同
※ 経年との能力検定も可

応募方法 特設フォームより履歴書、
応募用紙に記入の上デキエにて

最優秀賞 10万円 ※その他の特別賞あり

眠れる
獅子を
呼び覚ませ！

お問い合わせ bizcon2019-ml@kke.co.jp 2019年度社内公募事務局 (事業開発部 竹内)

プロジェクト表彰

- 年度内に実施された良いプロジェクトの表彰・全社にて共有
- 2021年度は**31件**のプロジェクトが“特に優れたプロジェクト”として受賞

表彰観点

- 技術的な特徴
- プロジェクトの未来像
- 新規性
- 既存の横展開
- プロジェクト運営
- 社内貢献、顧客貢献
- 関連ビジネスの発展寄与
- Innovating for a Wise Future の具現化



2021年プロジェクト表彰
KKE KnowledgeDAY

- 学術的または業務上の成果を対象とした、一年に一度の社内表彰制度
- 本年度服部賞
 - 日本におけるNavVisビジネスの展開



▲受賞記念講演(ハイアットリージェンシー東京)

日本におけるNavVisビジネスの展開

NavVis

NavVis 事業室

**不確実性の高い新規事業への挑戦を応援し、
サポートする組織風土へ**

	既存事業	新規事業
ビジネス 形態	・ 経験知の活用による価値創造 ・ コンサルティング中心	・ スピード感重視 ・ クラウドサービス ・ サブスクリプションビジネス ・ ハードウェアの活用(計測等)
顧客	・ 長年にわたる信頼関係 ・ 相対のビジネス	・ 新たな顧客との出会い ・ 幅広い顧客に対してのビジネス
成長性	・ 年5%程度の着実な成長	・ 20%~30%の成長性
品質	・ これまでの失敗による経験知	・ 品質について新たな定義・模索
求められる 人才	・ 着実、こだわり、愚直さ、自負心	・ 挑戦、柔軟さ、冗長性、主体性

付加価値向上に向け新規事業のビジネス形態の確立へ

Innovating for a **Wise Future**

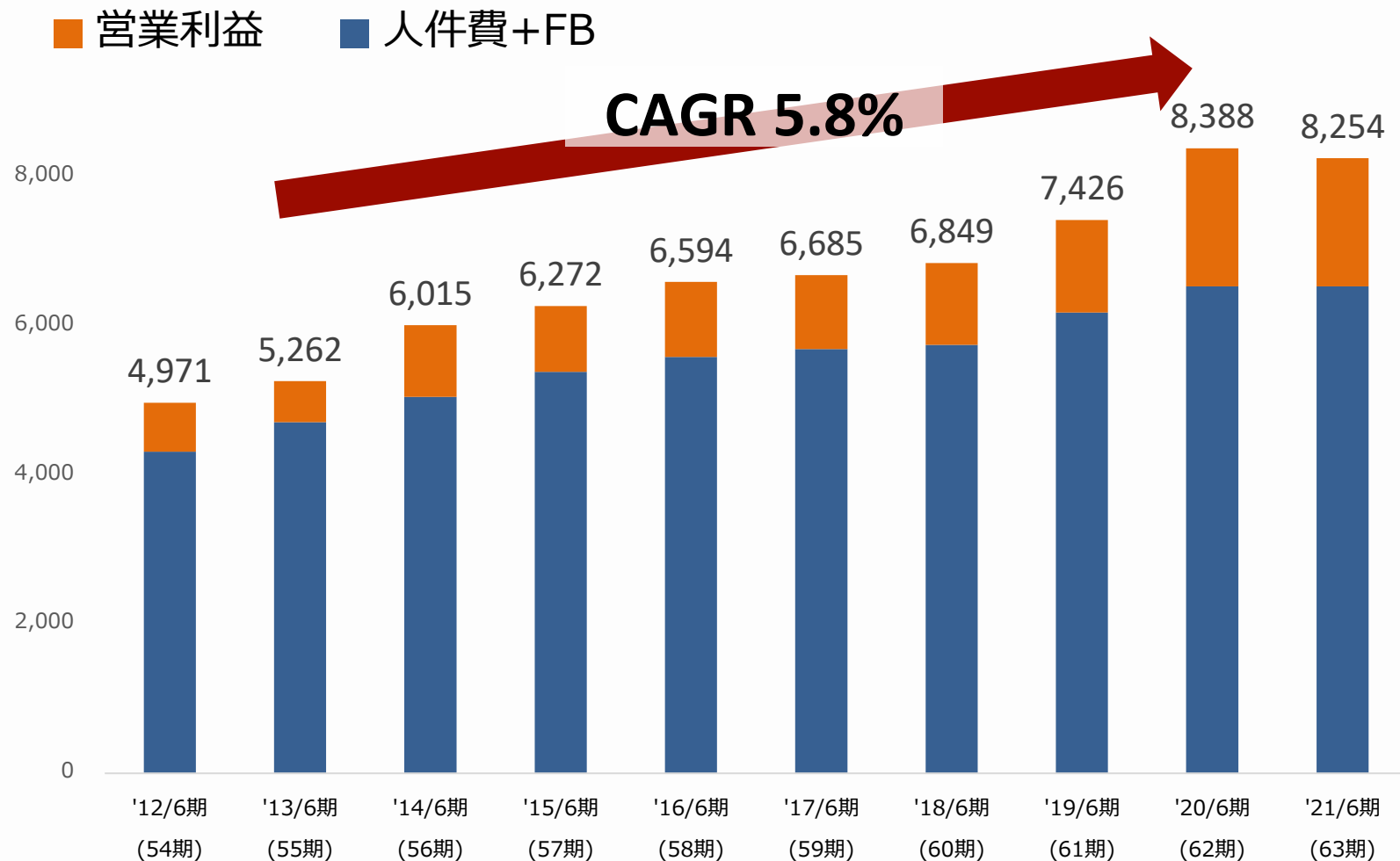


- ・ 当社の付加価値の源泉は**人才**
- ・ 総付加価値について(経営指標)
利益の追求に加え、
成長の源泉となる人才への還元も鑑み
以下を総付加価値と定義

$$\text{総付加価値} = \text{営業利益} + \text{人件費} + \text{フリンジベネフィット}$$

中長期的に5%~7%の年間成長を経営目標とする

過去10年間の総付加価値推移



当社“らしい”組織風土の考え方

□ 自律・自立・機動力

- ✓ 自由闊達、機動性のあるプロフェッショナル集団
- ✓ 専門性の深さ、協業の幅広さ、長期的な視点も大切にする姿勢

□ 独立性

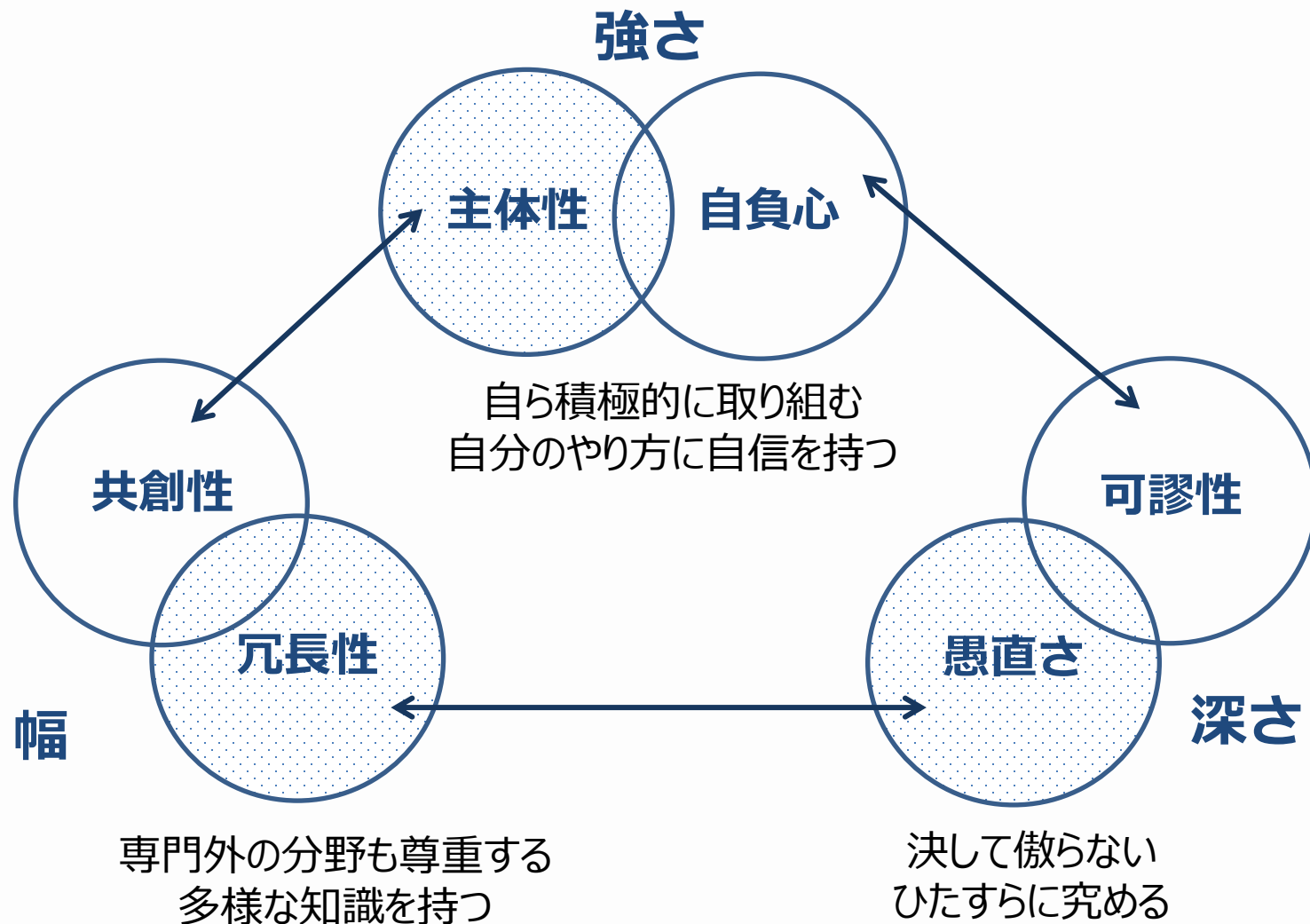
- ✓ 独立系の立ち位置、知財に対する強い意識
- ✓ 経験曲線を活用した価値提供（様々な顧客、分野、状況への知見）
- ✓ 身の丈に合ったプロジェクトの選別受注

□ 多様性

- ✓ 構造設計事務所として創業し、その後情報技術を活用して様々な業務分野へ展開
- ✓ ジェンダー、国籍、年齢に依らない人才の多様性
- ✓ 国内外の様々なパートナーとの連携

KKE WAY

所員の根底にある思考や行動のありよう、大切にしている視点



独立系企業の立ち位置を生かした
外部組織への出向・社外活動

国内出向状況



海外

デンバー

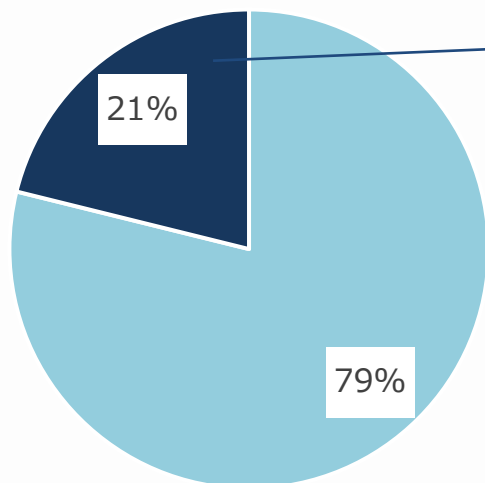
シンガポール

社外活動

- ・ 非常勤講師
- ・ 執筆活動
- ・ 社会人留学(国内)

国内外を問わず、外部での経験を通じた人才の成長

- 64期新卒入社 38名
 - 日本国籍 34名、外国籍4名
 - 男性30名、女性8名
 - 工学だけでなく、理学、農学、社会学、経営学など専攻も様々
- 全所員の**約20%**がキャリア入社 ※21/6期末時点
 - 既存業務の高度化、組織やビジネスを活性化する主力メンバーとして活躍

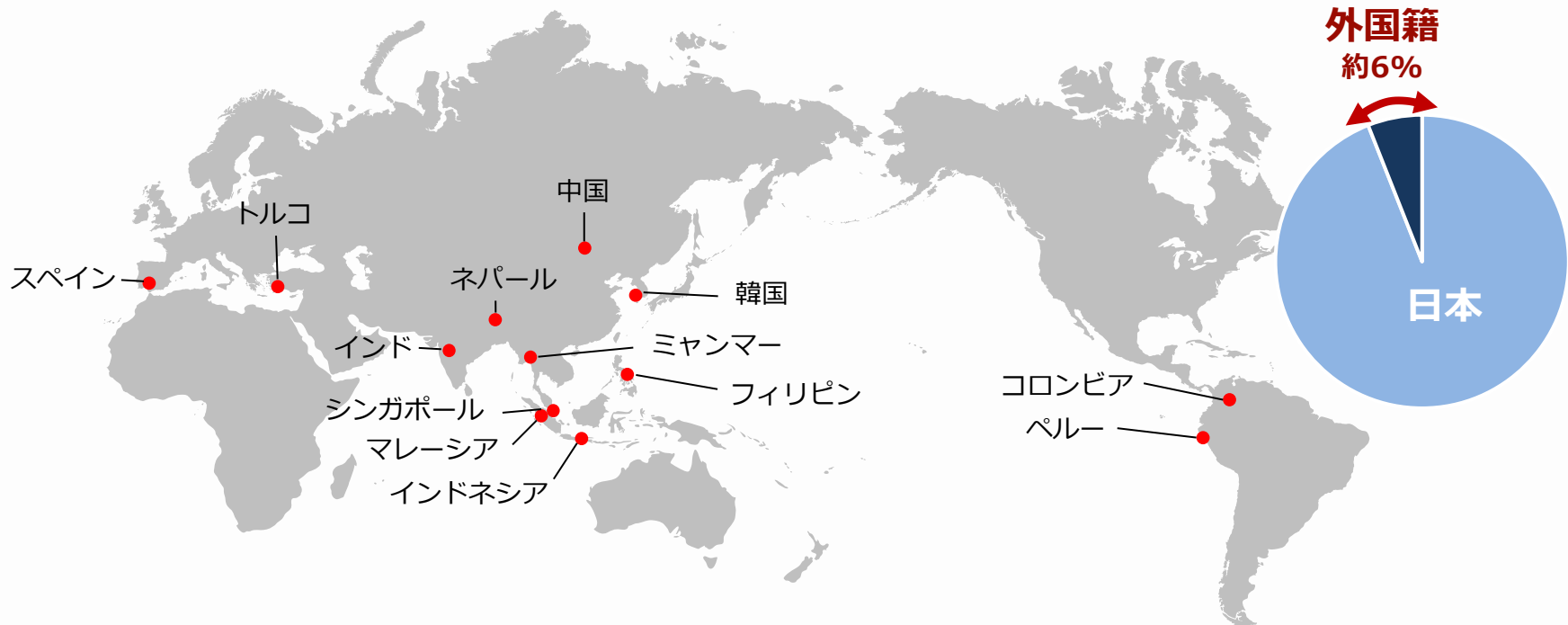


■ 新卒採用 ■ キャリア採用

例) 中途入社(3年目) 製造系部門・部門長

- 化学メーカーより当社へ入社
- 前職の経験から製造業向けシミュレーション技術をけん引
- 2021年より部門長へ

- 2014年より海外採用を本格的に開始後、
全所員の**約6%（36名）**を外国籍所員が占める
(2022年1月1日時点)



多様な価値観の融合により
組織の活性化や新たな事業展開に繋がる

入社15年目 解析営業部門・部門長

- ・地盤の液状化シミュレーション業務に従事
- ・省庁への派遣により専門分野における知見を蓄積

入社19年目、通信系部門・部門長

- ・電波伝搬技術に関連するビジネスの展開
- ・国際電気通信連合(ITU)において電波利用の国際基準の策定に貢献

入社12年目 技術担当部長

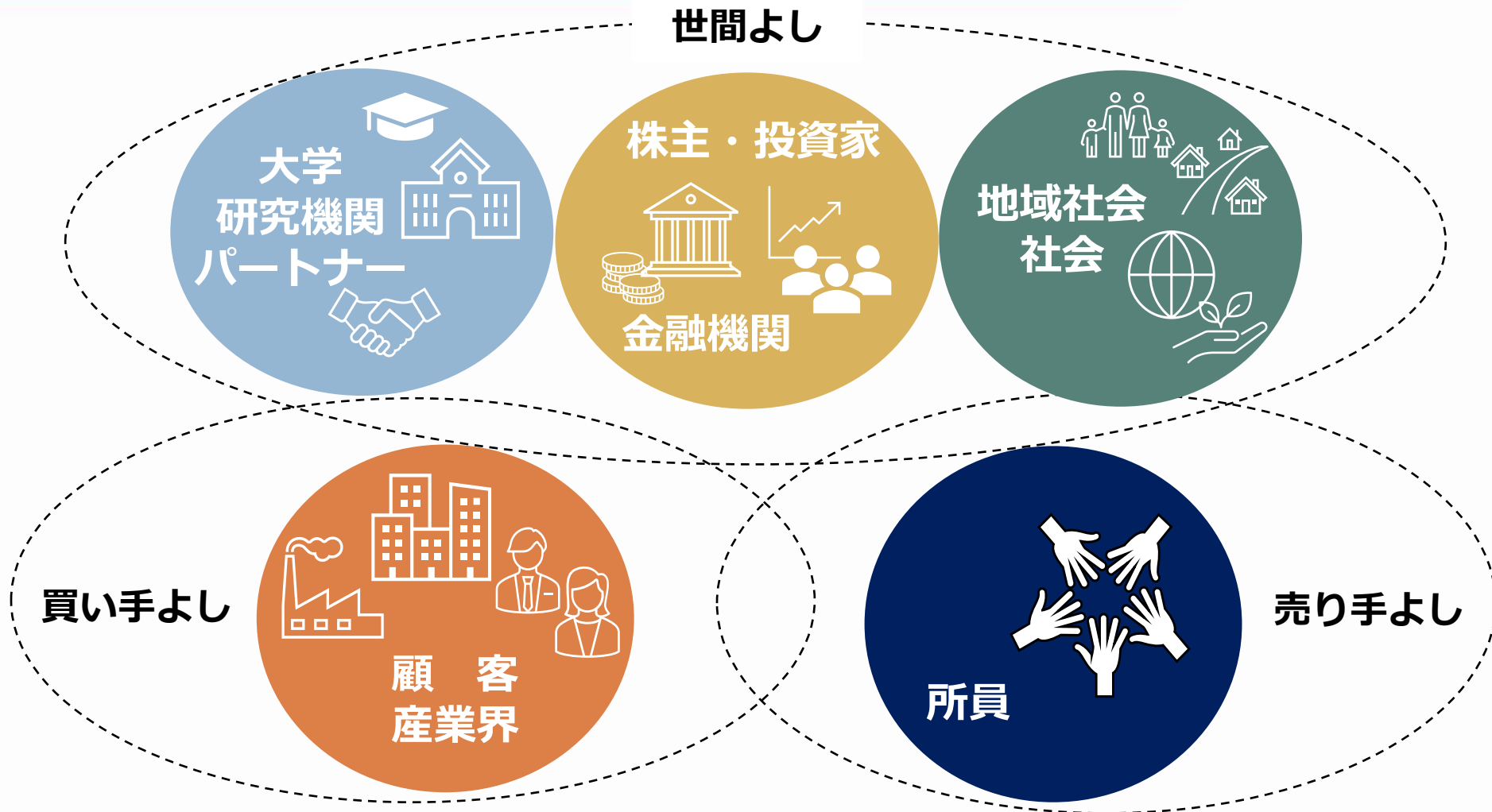
- ・スペイン・バルセロナ出身
- ・風力発電の風車タワー設計
- ・洋上風力案件における 海外事業者窓口として活躍

多様なバックグラウンドや経験をもとに活躍する人才

Innovating for a **Wise Future**

→ステークホルダーの皆様と共に創出する未来像





“三方よし”の考え方を基軸に
未来像=Thoughtを追い求めていく

Innovating for a Wise Future

Wise Future : 「賢慮」に満ちた未来社会の構築に向けて
Innovating : 持続的に社会へ価値を提供するために進化し続ける

“『工学知』をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮にみちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい”

ステークホルダー：
株主・投資家、地域社会、顧客・産業界、
大学・研究機関・パートナー(投資先・協力会社/個人事業主)、所員

【お問い合わせ先】

IR室

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E - M A I L : i r @ k k e . c o . j p

H P : <https://www.kke.co.jp>

*Innovating for a **Wise Future***